



# 教科書ぴったりにトレーニング

## まるつけラクラクかいとう

この「まるつけラクラクかいとう」は  
とりはずしてお使いください。



教育出版版  
算数1年

「まるつけラクラクかいとう」では問題と同じ紙面に、赤字で答えを書いています。

**おうちのかたへ** では、次のようなものを示しています。

- ・学習のねらいやポイント
- ・他の学年や他の単元の学習内容とのつながり
- ・まちがいやすいことやつまづきやすいところ

お子様への説明や、学習内容の把握などにご活用ください。

### 11 おおきさくらべ (1)

#### ぴったり1 46 ページ

**ねらい**  
長さ比べ(面積比べ)を通して、長い短いの考え方や測り方を理解します。

1 ながい ほうに ○ を つけましょう。

① あか あお ○  
あか あか

② たて よこ ○  
たて よこ

③ あか あお ○  
あか あか

**ねらい**  
長さ比べ(いくつ分で比べ)を通して、長い短いの考え方や測り方を理解します。

2 ながい ほうに ○ を つけましょう。

ああ ○  
ああ

#### ぴったり2 47 ページ

1 ながい ほうに ○ を つけましょう。

① あか あか ○  
あお あお

② ああ ○  
ああ

2 ながい じゆんに ㊦、㊧、㊨ を かきましよう。

けしこむ

ながい せのから じゆんに あいて いう。

㊨ → ㊧ → ㊦

#### ぴったり1 48 ページ

**ねらい**  
かさくらべを通して、かさが多い少ないの考え方や測り方を理解します。

1 おおく はいる ほうに ○ を つけましよう。

① ああ ○  
ああ

② ああ ○  
ああ

③ ああ ○  
ああ

2 どちらが どれだけ おおく はいりますか。

① ああ ○  
ああ

② ああ ○  
ああ

3 どちらの はこが おおきいですか。

① ああ ○  
ああ

#### ぴったり2 49 ページ

1 どちらが どれだけ おおく はいりますか。

① ああ ○  
ああ

② ああ ○  
ああ

③ ああ ○  
ああ

④ ああ ○  
ああ

⑤ ああ ○  
ああ

⑥ ああ ○  
ああ

⑦ ああ ○  
ああ

⑧ ああ ○  
ああ

⑨ ああ ○  
ああ

### 見やすい答え

### くわしいてびき

### おうちのかたへ

#### ぴったり1

- 1 長さを直接比べます。
- ① 端が揃っているから、青のほうが長いことがわかります。
- ② 縦と横を直接重ねて比べます。どの長さが縦で、どの長さが横になるのかもしっかり理解しましょう。
- ③ まっすぐにして、端を揃えて比べます。
- 2 方眼のます目を使って、長さをますのいくつ分で表し、数で長さを比べます。
- ⑥は6つつ分、⑦は7つつ分だから、⑦のほうが長いことがわかります。

#### ぴったり2

- 1 ① まっすぐにして、端を揃えて比べます。
- ② 輪飾り1つの大きさは、どれも同じと考えて、輪飾りの数で長さを比べます。⑥は9つつ分、⑦は6つつ分だから、⑥のほうが長いことがわかります。
- 2 比べるものが3つになっても、比べ方は同じです。⑥は5つつ分、⑦は7つつ分、⑧は10個分です。数の多い順に記号を書きましょう。

#### ぴったり1

- 1 ① 同じ大きさの容器に移すと、水面の高さでかさを比べることができます。
- ② コップを使って、かさをコップのいくつ分で表し、コップの数でかさを比べます。
- ⑥は8杯分、⑦は7杯分だから、⑥のほうがかさが多いことがわかります。
- 2 ⑥は6杯分、⑦は5杯分です。
- 3 箱のかさの大きい小さいは、重ねると比べられます。

#### ぴったり2

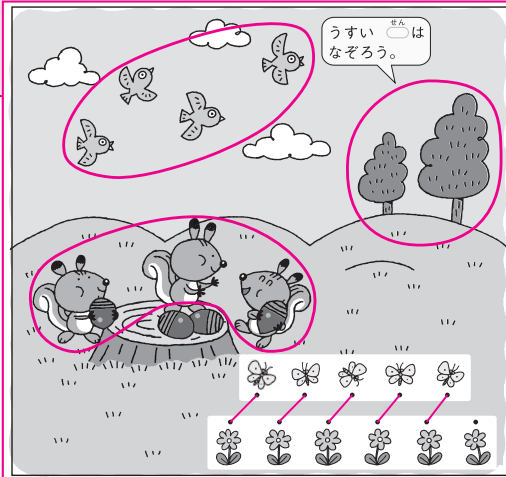
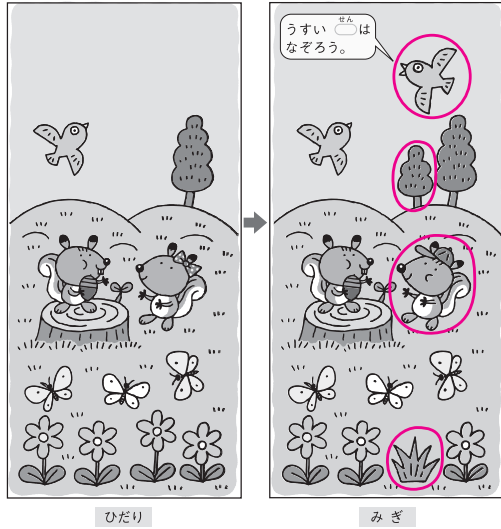
- 1 ⑥は8杯分、⑦は10杯分です。
- 2 比べるものが3つになっても、比べ方は同じです。コップのいくつ分で表したとき、数がいちばん多いものが答えになります。
- 3 重ねると、ロールケーキが入っている箱のほうが大きいことがわかります。

#### おうちのかたへ

長さやかさを、数に置き換えたりすることは、これから学習する長さやかさの単位の土台となります。

2~3 ページ

みぎの ばめんで、ひだりの ばめんと  
ちがう ところを ○で かこみましょう。



- なかまを ○で かこみましょう。  
の なかま の なかま の なかま
- と では どちらが おおいでしょうか。  
おい ほうを ○で かこみましょう。  
で おすんで くらべましょう。  
の ほうが おおい。

- 左右の絵のちがいを○で囲むようにします。  
着眼点としては、次の2点があげられます。  
1 鳥や木など、ものの数に注目する。  
2 リボンと帽子、花と草など、ものの形に注目する。  
身のまわりのものの数や形や大きさなどに関心をもたせるようにしましょう。
- 同じものや動物に着目して、仲間(集

合)をつくる問題です。大きさがちがっていたり、形や向きがちがっていたりしても、大きな枠で集合がとらえられるようにしましょう。  
2つのものの集まりについて、1対1対応させて線で結ばせ、余ったほうが多いことに気づかせます。見ためで感覚的にとらえるのではなく、作業を通して、なぜ多いのかという理由を説明できるようにさせてください。

1 いくつか

ぴったり1

4 ページ

もの集まりを●や数字に対応させて、1~5までの数を理解します。

おなじ かずの ものを せんで むすびましょう。

おなじ かずの ものを せんで むすぶよ。

うすい せんで なぞってね。

1~5までの数について、数字を書くことができますようにします。

5までの すうじを かきましよう。

1	いち	1	1	1	1	1
2	に	2	2	2	2	2
3	さん	3	3	3	3	3
4	し	4	4	4	4	4
5	ご	5	5	5	5	5

4は「よん」ともいいます。

ぴったり2

5 ページ

おなじ かずの ものを せんで むすびましよう。

きょうかしよ10~11ページで、5までの かずの かぞえかたを まなぼう。

かずだけ を ぬりましよう。

きょうかしよ10~11ページで、5までの かずの かぞえかたを まなぼう。

1 さん

すうじで かきましよう。

きょうかしよ12~13ページで、5までの すうじの かきかたを まなぼう。

4 5 2 3

ぴったり1

- 1~5の数の意味、数え方を理解させます。具体物の数量を半具体物(●の数)に置きかえ、1~5の数の量感をとらえられるようにしましょう。
- 1~5の数のよみ方と数字を書く練習です。2や3の字形、4や5の書き順に特に注意させましょう。

ぴったり2

- 1から順に声に出して練習させましょう。
- ブロックも数字も数のよみも、数量を表しています。それを○をぬるこ

とで表します。○は左端から順にぬっていくようにしましょう。  
具体物の数量を数字で表します。数字を書くときは、字形を正しく、書き順にも注意させましょう。

おうちのかなへ

日常生活の中でも具体的なものを数えることにより、数の概念を養わせてください。また、正しい数字が書けるように、字形や書き順に注意しながら、くり返し練習することが大切です。

ぴったり1

6 ページ

◎めあて  
ものの集まりを●や数字に対応させて、6~10までの数を理解します。 れんしゅう

👉 おなじ かずの ものを せんで おすびましよう。

👉 10までの すうじを かきましよう。

6 6 6 6 6  
7 7 7 7 7  
8 8 8 8 8  
9 9 9 9 9  
10 10 10 10 10

7は「なな」、9は「きゅう」ともいうよ。

ぴったり2

7 ページ

🌸 おなじ かずの ものを せんで おすびましよう。

きょうかしよ14~15ページで、10までの かずの かぞえかたを まなぼう。

🌸 かずだけ むを ぬりましよう。

きょうかしよ14~15ページで、10までの かずの かぞえかたを まなぼう。

9 しち

🌸 すうじで かきましよう。

きょうかしよ16~17ページで、10までの すうじの かきかたを まなぼう。

6 10  
9 7

ぴったり1

8 ページ

◎めあて  
10までの数の大小と並び方(系列)がわかるようになります。 れんしゅう

👉 かずが おおきい ほうに ○を つけましよう。

7 ( ) ( )  
6 ( ) ( )

👉 □に あてはまる かずを かきましよう。

1 2 3 4 5 6 7

◎めあて  
「1つもない」ことを表す数0について理解し、数字に表せるようにします。 れんしゅう

👉 めだかの かずを すうじで かきましよう。

① ② ③

0 0 0 0

③の めだかの かずは、「0ひき」というよ。

ぴったり2

9 ページ

🌸 かずが おおきい ほうに ○を つけましよう。

きょうかしよ18~19ページで、かずの おおきさを まなぼう。

① ② ③

3 5 9 8 6 10  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

🌸 □に あてはまる かずを かきましよう。

きょうかしよ18~19ページで、かずの ならびかたを まなぼう。

🌸 10までの すうじを かきましよう。

きょうかしよ16~17ページで、10までの すうじの かきかたを まなぼう。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

🌸 0と1の かずを かきましよう。

きょうかしよ20ページで、0と1の かずを おぼえよう。

① ② ③

1 0 2

1こそないから...

ぴったり1

- 👉 6~10の数の意味、数え方、よみ方を理解させます。具体物の数量を半具体物(●の数)に置きかえて、6~10の数の量感をとらえられるようにしましょう。
- 👉 6~10の数のよみ方と数字を書く練習です。8の字形、7や10の書き順に注意して、くり返し練習させてください。

ぴったり2

- 🌸 具体物は、端から1個ずつ数えていき、数え終わったものには印をつけ

- るようにしましょう。数えまちがいや重なりがなくなります。
- 🌸 6~10の数を、「5といくつ」ととらえて○をぬっていきます。このようにして、数のとらえ方を次第に豊かにしていきましょう。
- 🌸 具体物の数量を数字で表します。

🏠 おうちのかたへ

1~10までの数は算数の基本です。数を数えること、その数量を数字で表せるようになることが、この単元での目標になります。

ぴったり1

- 👉 数の大小比較ができるようにします。数字だけで比較するのがむずかしいときは、ブロックなどを使って、数字が表す数の大きさを実感させるとよいでしょう。
- 👉 数の並び方(系列)を理解させます。
- 👉 ③のように「1つもない」ことを、数字で0と書き、「れい」とよむことを理解させます。

ぴったり2

- 🌸 数字で数の大小比較ができるようにします。

- 🌸 1~10までの数の並び方(系列)を、ブロックを用いて量感をもって理解させるようにします。
- 🌸 どんらやきの数を数字に表す際、皿の上にならやきが1個もないとき、数字の0(れい)を用いて表せるようにします。「皿の上のどんらやきを1個ずつ食べていくと、どうなるかな?」などと問いかけて、日常生活の時間的な経過の中で、0を具体的に示すとわかりやすくなるでしょう。

ぴったりに3

10~11 ページ

知識・技能 / 100%

① おなじ かずの ものを せんで おすびましょう。  
1つ5てん(20てん)

るく 9

② かずだけ まるを ぬりましょう。  
1つ5てん(15てん)

① 4 ② 10 ③ 7

③ りんごの かずを すうじで かきましよう。  
1つ5てん(15てん)

① ② ③

3 0 2

④ 2つ7てん かずを すうじで かきましよう。1つ5てん(20てん)

① (4) ② (10)

③ (8) ④ (7)

⑤ かずが おおきい ほうに まるを つけましよう。  
1つ5てん(10てん)

① 5 ② 3 10

(○) ( ) ( ) (○)

⑥  に あてはまる かずを かきましよう。  
01つ5てん(20てん)

① 1 2 3 4 5 6 7

② 10 9 8 7 6 5 4

ぴったりに3

- ① 具体物と半具体物や数字を対応できるようにします。まず、具体物の数を数えて、小さくメモしておきましょう。それから、同じ数のものを線で結ばせます。
- ② ①4は5より小さいので、上の段の左端から色をぬります。色をぬる順序は、上段左端→上段右端→下段左端→下段右端 になります。バラバラにぬったり、途中からぬったりしないように注意させてください。

②③10も7も5より大きいので、「5といくつ」と考えて、色をぬるようにしましょう。

- ③ 皿の上のりんごの数を数字で表します。  
②のように「1こもない」ときは、数字の0を用いて数に表すことを確認させてください。
- ④ 具体物の数を数字で表します。  
1~10までの数と数字がきちんと対応できているか確認しましょう。また、数字の書き方が正しくできて

いるかにも注意させてください。特に、数字の8は字形をとらえるのがおぼつかしいようです。くり返し練習して、正しい数字が書けるようにしましょう。

- ⑤ 数の大小比較は、数字どうし比べるだけではありません。①のように、半具体物(●の数)と数字の大きさを比べるときは、半具体物を数字に置きかえて比較できるようにしましょう。
- ⑥ 数の並び方(系列)の問題では、まず数がどのように並んでいるかを調べます。  
①は右にいくにつれて|ずつ大きくなり、②は右にいくにつれて|ずつ小さくなっています。  
②のように逆に並んでいると、並び方がわからなくなることが多いようです。10から逆に言わせたりして、数の並び方を確認させましょう。

## 2 なんばんめ

### ぴったり1 12ページ

① ○で かこみましょう。  
 ① まえから 4だい  
 ② まえから 4だめ

② もようが あります。□に かずを かきましょう。

① ☆は ひだりから 5ばんめ  
 ② ♠は ひだりから 8ばんめ  
 ③ →は ひだりから 11ばんめ  
 ④ ▲は みぎから 4ばんめ

### ぴったり2 13ページ

① ○で かこみましょう。  
 ① ひだりから 3びき  
 ② ひだりから 3びきめ

② どうぶつが ならんで います。

① 象は、まえから 4ばんめ  
 ② 熊は、うしろから 2ばんめ

③ □に あてはまる かずを かきましょう。

### ぴったり3 14~15ページ

① ○で かこみましょう。  
 ① ひだりから 5こ  
 ② ひだりから 5こめ

② バスを まって います。

① なんにん まって いますか。 ( 6 ) にん  
 ② まえから 3にんに ○を つけましょう。  
 ③ うしろから 3にんを □で かこみましょう。

③ □に あてはまる かずを かきましょう。

① 6 7 8 9 10 11 12  
 ② 6 5 4 3 2 1 0  
 ④ □に あてはまる かずを かきましょう。

① ①は、うえから 2ばんめに あります。  
 ② ②は、したから 3ばんめに あります。  
 ③ うえから 5ばんめの たなは、したから 2ばんめです。  
 ④ ただしい ことばを ○で かこみましょう。  
 ④は、( うえ 、 した ) から 4ばんめに あります。

### ぴったり1

- ① ①は集合を表す数、②は順序を表す数です。  
 「まえから 4だい」は、前から4番目までの車4台を囲み、「まえから 4だめ」は、前から4番目の車1台だけを囲むことに注意します。  
 ② 10より大きい11、12という数を覚えます。よんで書けることと、数の順序が正しく言えるようにします。

### ぴったり2

- ① ①まず、左と右の方向を確かめさせ

- ます。それから作業を始めましょう。集合を表すので、左から3匹を囲みます。  
 ②順序を表すので、3匹目の1匹だけを囲みます。  
 ② ①ぞうから順に前から1番目、2番目、…と順序よく数えていきます。  
 ②方向を示す言葉が「前」から「後ろ」に変化していることに注意させましょう。  
 ③ 12までの数の順番がわかり、よんで書けるようにします。

### ぴったり3

- ① ①集合を表す数です。左から5個全部を囲みます。  
 ②順序を表す数です。左から5個目の1個だけを囲みます。  
 ② ①人数を数えます。前からでも後ろからでもよいです。  
 ②順序を表す数です。1人だけに○をつけます。  
 ③後ろから3人全部を□で囲みません。数える基準が後ろからになっていることに注意させましょう。  
 ③ ①は6から1ずつ大きくなり、②は

### おうちのかなへ

この単元では、集合を表す数(集合数)と順序を表す数(順序数)が区別できるようになるかが重要です。かけっこなどの具体的な場面を利用して、理解を深めさせましょう。

### 3 いま なんじ

#### ぴったり12

16 ページ

① とけいを よみましょう。

① 8じ

② 2じはん

ながい はりが 12のときは、「~じ」とよむよ。

みじかい はりが すうじの あいだにあるときは、ちいさい はうのすうじをよんでね。

① とけいを よみましょう。

きょうかしよ31~33ページで、とけいのよみかたをまなぼう。

① 7じ

② 3じはん

#### ぴったり3

17 ページ

① とけいを よみましょう。

① (10)じ

② (5)じ

③ (7)じはん

② とけいがすすんだじゆんに、あ、い、うをかきましょう。

① (い)

② (あ)

③ (う)

(い) → (あ) → (う)

### 4 いくつと いくつ

#### ぴったり1

18 ページ

① 5をつくりましょう。

5

② 8をつくりましょう。

8

① 8は ② 8は ③ 8は

1と7 2と6 3と5

#### ぴったり2

19 ページ

① 6をつくりましょう。

6

② あといくつで7になるでしょうか。

7

③ 5は ② 6は ③ 7は

4と1 2と4 5と2

#### ぴったり1

1 「〇時」「〇時半」の時計がよめるようになることが、この単元の目標です。短針が「時」を表すことを理解させ、「〇時」は12、「〇時半」は6を長針が指すことを確認させましょう。

#### ぴったり2

1 時刻を日常生活の場面と関連づけて理解させます。

② 4時半とよむまちがいに注意します。短針は、小さい方の数字をよむことを確認させましょう。

#### ぴったり3

1 ①は授業中、②は夕方テレビを見ている、③は夕食を食べている場面です。日常生活の流れの中で、自然と時刻がよめるようにしましょう。

③短針は7と8の間にあります。「〇時」は小さい方の数字をよみます。

2 時計はどのように動いているのかを考える問題です。できれば具体物(アナログ時計)を使って確認させるとよいでしょう。

#### ぴったり1

1 5の合成を学びます。

●のカードに線をひいて●を分けてもよいですし、指で●を隠して「いくつといくつ」と考えさせてもよいでしょう。

#### ぴったり2

1 6の合成を学びます。おはじきを1個ずつ数えていって、6個になるものを線で結びましょう。

2 ①上のカードの●は3個です。下のカードは、4、5、6、7と数え

ながら4個ぬります。

③上のカードの●は2個です。下のカードは、3、4、5、6、7と数えながら5個ぬります。●は、左上から順にぬるようにしましょう。

3 ①5の分解です。

②6の分解です。指を使って、2の次の3から順に指を3、4、5、6と4回折ると6になることから答えを出してもよいでしょう。

# ぴったり1

20 ページ

◎めあて  
9の合成・分解を学びます。 れんしゅう

1 9をつくりましょう。

ほかにき ありそうだね。

9は、1と8  
2と7  
3と6  
4と5  
5と4  
6と3  
7と2  
8と1

◎めあて  
10という数の構成を、数の合成・分解を通して理解します。 れんしゅう

2 10をつくりましょう。

① 1と9で10  
② 2と8で10  
③ 3と7で10  
④ 4と6で10

ひだりの かずは、1ずつ  
ふえて いるね。  
みぎの かずは、  
どうなって いるかな？

1と9  
2と8  
3と7  
4と6

# ぴったり2

21 ページ

◎めあて  
9の合成・分解を学びます。 れんしゅう

1 ○にあてはまる かずを かきましよう。

きょうかしよ40ページで、9は いくつと いくつを かんがえよう。

① 9は ② 9は ③ 9は

6と3 1と8 4と5

2 あと いくつで 10に なるでしょうか。

きょうかしよ41~42ページで、10の つくりかたを まなぼう。

① ②

6 3

◎めあて  
10の合成・分解を学びます。 れんしゅう

3 10をつくりましよう。

きょうかしよ43ページで、10の つくりかたを まなぼう。

だて、よこ、たなめに、  
10を みつけて  
かこんでみよう。

# ぴったり3

22~23 ページ

知識・技能 /100%

◎めあて  
9の合成・分解を学びます。 れんしゅう

1 あと いくつで 9に なるでしょうか。

1つ5てん(10てん)

① ②

5 6

◎めあて  
10の合成・分解を学びます。 れんしゅう

2 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ あと いくつで 10に なるでしょうか。

1つ5てん(10てん)

① ②

5 7

◎めあて  
10の合成・分解を学びます。 れんしゅう

3 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ ○にあてはまる かずを かきましよう。

1つ5てん(30てん)

① 8と2で10 ② 4と6で10  
③ 9と1で10 ④ 6と4で10  
⑤ 10は7と3 ⑥ 10は2と8

◎めあて  
7の合成・分解を学びます。 れんしゅう

4 7をつくりましよう。

1つ5てん(20てん)

◎めあて  
10の合成・分解を学びます。 れんしゅう

5 ○や□にあてはまる かずを かきましよう。

1つ5てん(30てん)

① ②

5 8  
2 3 2 6

③ ④

9 6  
5 4 3 3

◎めあて  
10の合成・分解を学びます。 れんしゅう

6 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ ○や□にあてはまる かずを かきましよう。

1つ5てん(30てん)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

9 10  
7 2 2 4 4

# ぴったり1

- 9の合成を学びます。  
1つの数が、何通りもの2つの数の和(たした数)で表されることを理解させましょう。
- 10の分解を学びます。ブロックを使って、10を2つの数に分解していきます。10という数は、十進法の基本となる数です。10の合成・分解をくり返し練習して、正しく理解させてください。

# ぴったり2

- 9の分解です。どんな数でも数字で考えられるようになるまで、くり返し練習させましょう。
- カードの余白に●をかきたして10をつくってみましょう。それから、はじめにあった●の数と、かきたした●の数を数字で表して、数字で10がつかれるように練習しましょう。
- 10をつくる練習です。数の重なりにも注意しながら、すべて見つけられるようにしましょう。

# ぴったり3

- たりないおはじきをかいて、数えましょう。その後で数字になおして考えましょう。
- たりない●やブロックをかいて、数えましょう。その後で数字になおして考えましょう。
- 10の合成と分解です。全部で9通りあります。10の合成・分解の理解をきちんと身につけることによって、この後に学習するたし算・ひき算の基礎が固まります。くり返し練習させましょう。
- さいころの目を利用して。さいころは、向かい合った面の目の数の和が7になります。実物を使って確かめるとよいでしょう。
- 5~10までの数の合成と分解です。これは、たし算やひき算のもとになる考え方です。「5は、2と3」、「3と3で6」など、声に出して覚えるようにしましょう。
- 10を3つの数に分解します。「2と4で6」、「6と4で10」というように、順に考えます。

5 ぜんぶで いくつ

ぴったり1 24 ページ

① ふえると なんわに なるでしょうか。

はじめに 3わ 1わ ふえると

しき  $3 + 1 = 4$   
(3 たす 1 は 4)

こたえ 4 わ

② あわせると なんぼんに なるでしょうか。

3ぼん 5ぼん

しき  $3 + 5 = 8$   
(3 たす 5 は 8)

こたえ 8 ぼん

ぴったり2 25 ページ

① ケーキは なんこに なるでしょうか。

はじめに 1こ

しき  $1 + 4 = 5$

4このせると  
こたえ ( 5 ) こ

② チューリップは、あわせて なんぼんに なるでしょうか。

しき  $5 + 4 = 9$

こたえ ( 9 ) ぼん

③ けいさんを しましょう。

①  $2 + 1 = 3$       ②  $3 + 2 = 5$   
③  $1 + 3 = 4$       ④  $4 + 1 = 5$

ぴったり1 26 ページ

① 1かいめと 2かいめにはいった かずを あわせると、 なんこに なるでしょうか。

しき  $1 + 0 = 1$

② カードのおもてと うらを せんで むすびましょう。

$2 + 3 = 5$

$2 + 6$     $3 + 4$     $8 + 1$     $5 + 5$

7   10   8   9

ぴったり2 27 ページ

① 1かいめと 2かいめにはいった かずを あわせると、 なんこに なるでしょうか。

しき  $2 + 0 = 2$

こたえ ( 2 ) こ

② けいさんを しましょう。

①  $5 + 1 = 6$       ②  $7 + 2 = 9$   
③  $4 + 6 = 10$       ④  $1 + 9 = 10$   
⑤  $0 + 8 = 8$       ⑥  $0 + 0 = 0$

③ こたえが 7になる たしざんの カードを みつけましょう。

㊸  $6 + 3$    ㊹  $4 + 2$    ㊺  $2 + 5$       ( ㊻ )

ぴったり1

- 「はじめに鳥が3羽いました。そこへ1羽増えると、4羽になります。」というお話を通して、増加による数の変化を理解し、増加の場面でたし算が用いられることの意味を考えさせます。また、式の書き方、よみ方、記号(+、=)の使い方、答えの書き方をしっかりと確認させましょう。
- 「3本と5本の花を合わせると、8本になります。」という合併の場面で表します。合併の場面もたし算で表すこと、答えの求め方は増加の

ぴったり2

- おぼんにケーキを4個のせると、おぼんの上のケーキは増えるので、たし算になります。
- 「あわせて なんぼん」という場面では合併のたし算になります。
- 答えが5までのたし算です。答えを求めるだけでなく、式の意味を理解することも大切です。

ぴったり1

- 0を含むたし算の意味を考えます。あおいさんの2回目に入った輪は0個であることをおさえてから、入れた輪の合計をもとめることをたし算の式で  $1 + 0 = 1$  と表すことを理解します。「1個も入らなかった」ことを「0個入った」と考えて、たし算の式に表すことがポイントです。
- たし算のカードを用いて、たし算の習熟を確実なものにしましょう。

ぴったり2


- 「2回目には1個も入らなかった」ことを、数の0を用いてたし算の式をつくりまます。また、たされる数に0をたしても、答えはたされる数と同じになることを理解させましょう。
- 答えが10以下の数になるたし算の練習です。まちがえた問題は、くり返し練習させることが大切です。
- まず、それぞれのカードの答えを求めます。㊸は9、㊹は6、㊺は7です。

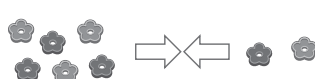
ぴったり3

28~29 ページ

知識・技能 / 40てん

1 しきに かきましよう。 ぜんぶできて1もん10てん(20てん)

①  しき  $4 + 5 = 9$


②  しき  $6 + 2 = 8$

2 おなじ こたえに なる しきを せんで おすびましよう。 1つ10てん(20てん)

$8+2$	$2+4$	$6+1$	$5+4$
$0+7$	$9+0$	$3+7$	$3+3$

思考・判断・表現 / 60てん

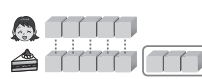
3 はとが 5わ いました。 2わ きました。 ぜんぶで なんわに なったでしょうか。 1つ5てん(10てん)

しき  $5 + 2 = 7$  こたえ ( 7 ) わ 

4 こどもが 7にん、おとなが 3にん います。 あわせて なんにん いるでしょうか。 1つ10てん(20てん)

しき  $7 + 3 = 10$  こたえ ( 10 ) にん

5 ケーキを、5にんに 1こずつ くばりました。 ケーキは、まだ 3こ のこって います。 ケーキは、ぜんぶで なんこ あったでしょうか。 1つ10てん(20てん)

しき  $5 + 3 = 8$  こたえ ( 8 ) こ 

6  に あてはまる かずを かきましよう。 (ぜんぶできて10てん)

(れい)  $2 + 4 = 6$

をケーキの数に置きかえて式をつくることをしっかり理解させてください。

6 式の答えは1つに決まりますが、答えが決まっている式は何通りも考えられることを理解させましょう。

おうちのがたへ

たし算をする場面として、「ふえる(増加)」場面と「あわせる(合併)」場面を学びます。なぜたし算になるのかを、具体的な場面を通して理解させるようにしましょう。また、たし算の計算も習熟させましょう。

ぴったり3

- ①増加の場面です。  
「4あって、5増えると9」をたし算の式に表します。
- ②合併の場面です。「6個と2個を合わせると8個」をたし算の式に表します。
- まず、たし算の答えをカードの横に小さく書いておいて、同じ答えのカードを線で結びます。0を含むたし算に注意して、たされる数に0をたしても、0にたす数をたしても、答えはそれぞれ、たされる数やたす

数と同じになることに気づかせてください。

- 増加の場面のたし算です。5羽いるところに2羽増えるので、式を  $2 + 5 = 7$  としないように注意させましょう。
- 合併の場面のたし算です。「あわせて」という言葉に注目して立式させます。
- 図を参考にして、「5人の子どもに配ったケーキは5個」と考えて、  $5(こ) + 3(こ)$  と立式します。人の数

6 のこりは いくつ

ぴったり1 30 ページ

① のこりは なんこに なるでしょうか。

はじめに 4こ

2こ たべると

しき  $4 - 2 = 2$   
(4 ひく 2 は 2)

こたえ 2こ

② 9にんで こうえんに いきました。そのうち 6にんが こどもです。おとなは なんにんでしょうか。

しき  $9 - 6 = 3$

こたえ 3にん

ぴったり2 31 ページ

① 7にん あそんで いました。3にん かえりました。のこりは なんにんに なったでしょうか。

しき  $7 - 3 = 4$

こたえ ( 4 ) にん

② あかと しろの チューリップが 10ぼん さいて います。そのうち あかい チューリップは 6ぼん です。しろい チューリップは なんぼんでしょうか。

しき  $10 - 6 = 4$

こたえ ( 4 ) ぼん

③ いすが 8こ あります。5にんの こどもが ひとりずつ すわります。いすは なんこ あまるでしょうか。

しき  $8 - 5 = 3$

こたえ ( 3 ) こ

ぴったり1 32 ページ

① のこりは なんぼんに なるでしょうか。

① 3ぼん のむと

しき  $3 - 3 = 0$

② のまないと

しき  $3 - 0 = 3$

② カードのおもてと うらを せんで むすびましょう。

おもて  $6 - 4$   $2$

うら  $8 - 3$   $6 - 5$   $9 - 5$   $10 - 2$

4 5 8 1

ぴったり2 33 ページ

① いちごが 4こずつ あります。のこりは なんこに なるでしょうか。

ゆうた  $4 - 4 = 0$

りか  $4 - 0 = 4$

② けいさんを しましょう。

①  $5 - 3 = 2$  ②  $4 - 1 = 3$

③  $9 - 7 = 2$  ④  $10 - 9 = 1$

⑤  $8 - 0 = 8$  ⑥  $2 - 2 = 0$

③ こたえが 2に なる ひきざんの カードを みつけましょう。

㊸  $5 - 4$  ㊹  $8 - 6$  ㊺  $9 - 2$

ぴったり1

- 「はじめに、りんごが4個ありました。2個食べると、残りは2個になります。」というお話を通して、残りの数を求める求残の式、 $4 - 2 = 2$ と表すことを学びます。たし算のときと同様、式の書き方、よみ方、記号(−、=)の使い方、答えの書き方を確認させておいてください。
- 全体の数から部分の数をひいて、もうひとつの部分の数を求める場面で、これも求残の場面の1つです。

ぴったり2

- 「帰る」という言葉は、「食べる」などと同様に、残りを求める求残の場面で使われます。
- ①のように減った残りを求めるのではなく、AとBの集まりからAをひいてBを求めるひき算の問題です。
- この場面も求残の場面の1つですが、図を参考にして人と物を対応させ、「5人の子供がすわるいすは5個」と考えて、 $8(こ) - 5(こ)$ の式をつくれます。

ぴったり1

- 0を含むひき算の意味を考えます。
  - ①はじめに3本→3本飲むと→0本になる
  - ②はじめに3本→0本飲むと→3本のまま
 「0本」という言葉を使って求残の場面を表し、式につなげていきましょう。
- たし算のときと同様に、ひき算のカードを用いて、ひき算の習熟を確実なものにしましょう。

ぴったり2

- りかさんが「いちごを1個も食べなかった」ことを、数の0を用いてひき算の式をつくりまます。ゆうたさんはいちごを4個ぜんぶ食べたので、 $4 - 4$ で答えが0になります。つまり、残りが0個であるということです。
- ひき算の計算問題です。
- まず、それぞれのカードの答えを求めます。㊸は1、㊹は2、㊺は7です。


ぴったり3

34~35 ページ

知識・技能 / 40てん


1 しきに かきましよう。 せんぶできて1もん10てん(20てん)

① はじめに 8こ 3こ たべると



しき  $8 - 3 = 5$

② いぬが 6ひき そのうち こいぬが 4ひき



おとなの いぬは


しき  $6 - 4 = 2$

2 おなじ こたえに なる しきを せんで おすびましよう。 1つ5てん(20てん)

$7-6$	$10-3$	$6-2$	$8-2$
$9-2$	$6-0$	$9-8$	$5-1$

Red lines connect  $7-6$  to  $9-2$ ,  $10-3$  to  $6-0$ ,  $6-2$  to  $9-8$ , and  $8-2$  to  $5-1$ .


思考・判断・表現 / 60てん

3  ふうせんが 6こ ありました。3こ とんで いきました。のこりは なんこに なったでしょうか。 1つ10てん(20てん)

しき  $6 - 3 = 3$


こたえ ( 3 ) こ


4 |ねんせいと 2ねんせいが あわせて 8にん います。その うち 4にんが 2ねんせいです。|ねんせいは なんにん いるでしょうか。 1つ10てん(20てん)



しき  $8 - 4 = 4$

こたえ ( 4 ) にん

5  ぼうしが 10こ あります。4にんの こどもが 1こずつ かぶります。ぼうしは なんこ あまるでしょうか。 1つ10てん(20てん)



しき  $10 - 4 = 6$

こたえ ( 6 ) こ

7 どれだけ おおい

ぴったり1

36 ページ

①めあて

「どちらがいくつ多い」という差の場面の意味がわかり、答えが求められるようにします。 れんしゅう

1 あかい はなと しろい はなは どちらが なんぼん おおいでしょうか。 あかい はなが 6ぼん しろい はなが 4ぼん あるね。



しき  $6 - 4 = 2$

こたえ **あかい はな** が **2** ぼん おおい。

②めあて

「ちがいはいくつ」という差の場面がわかり、答えが求められるようにします。 れんしゅう

2 うしと うまの かずの ちがいは いくつでしょうか。 ひきざんは、おおい かずから ちがいを ひくよ。



しき  $9 - 6 = 3$

こたえ **3** とう

ぴったり2

37 ページ


1 かぶとむしは トンボより なんびき おおいでしょうか。 きょうかしょ71~73ページで、「どれだけ おおい」を かんがえよう。



しき  $7 - 5 = 2$


こたえ ( 2 ) ひき

2 りんごと みかんは どちらが なんこ おおいでしょうか。 きょうかしょ73ページで、「どちらが いくつ おおい」を かんがえよう。



しき  $8 - 4 = 4$

こたえ ( **みかん** ) が ( 4 ) こ おおい。

3  けしゴムが 6こ あります。えんぴつが 8ぼん あります。かずの ちがいは いくつでしょうか。 きょうかしょ74ページで、「かずの ちがいを かんがえよう。」

しき  $8 - 6 = 2$

こたえ ( 2 ) つ

ぴったり3

- ①「はじめに8個あって、3個食べると、残りは5個」をひき算の式に表します。
- ②「犬が6匹いて、そのうち子犬が4匹だから、おとなの犬は残りの2匹」をひき算の式に表します。
- まず、ひき算の答えをカードの横に小さく書いておいて、同じ答えのカードを線で結びます。
- 「飛んでいく」という言葉から、ひき算を使うことが判断できるようにしましょう。

- 部分の数を求めるひき算です。1年生と2年生がいます。2年生の人数がわかっているため、残りは1年生だから、1年生の人数はひき算で求められます。問題の絵を使って理解させましょう。
- 問題の絵を見て考えさせましょう。「4人の子どもがかぶる帽子は4個と考えて、10(こ)−4(こ)の式をつくりまます。子どもの人数を帽子の数に置きかえて考えるとところがポイントです。

ぴったり1

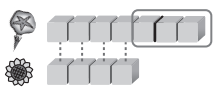
- 「どちらがいくつ多い」という差を求める求差の場面をひき算の式に表します。赤い花は6本、白い花は4本なので、多い方から少ない方の数をひけば本数のちがいが求められることを学びます。
- 「ちがいはいくつ」という差を求める場面をひき算の式に表します。問題文に「牛」が先に出てくるので、式を6−9=3とするまちがいが多く見られます。式に書くときには、必ず大きい数から小さい数をひくよ

- うに注意させましょう。
- ぴったり2
- (かぶとむし7匹)−(トンボ5匹)のひき算をします。
  - みかんが8個、りんごが4個です。まず、みかんの方が多いことを確認させましょう。「どちらが何個多い」と2つの事がらを答えるので、答え方に注意させてください。
  - ちがいを求めるときも、大きい数から小さい数をひくことを確認しておきましょう。

知識・技能 /70てん


1 しきに かきましょう。  
せんぶできて1もん10てん(20てん)

① なんこ おおい



しき  $7 - 4 = 3$

② ちがいは なんこ



しき  $5 - 3 = 2$

2 けいさんを しましょう。 1つ5てん(40てん)

①  $8 - 7 = 1$       ②  $9 - 4 = 5$

③  $9 - 3 = 6$       ④  $7 - 1 = 6$

⑤  $10 - 8 = 2$       ⑥  $10 - 5 = 5$

⑦  $4 - 0 = 4$       ⑧  $3 - 3 = 0$

3 あから えの うち、かずの ちがいが 3のものを すべて えらびましょう。 (10てん)


あ  $1 \quad 4$       い  $3 \quad 8$

う  $9 \quad 6$       え  $5 \quad 4$

(あ、う)

思考・判断・表現 /30てん

4 あかぐみが 7にん、しろぐみが 10にん います。 どちらが なんにん おおいでしょうか。 しきこたえ 1つ5てん(10てん)



しき  $10 - 7 = 3$

こたえ (しろぐみ)が (3)にん おおい。

5 に あてはまる +か -を かきましょう。 1つ10てん(20てん)

①  $7 - 3 = 4$       ②  $5 + 4 = 9$

ぴったりに3

- 1 ①「何個多い」という差を求める場面です。「7個は4個より3個多い」をひき算の式に表します。
- ②「ちがいは何個」という差を求める場面です。「3個と5個のちがいは2個」をひき算の式に表します。図では、「3」の方が先に出てきますが、式に書くときは、 $5 - 3 = 2$  となります。ひき算の式の決まりをもう一度確認しておきましょう。
- 2 10以下の数のひき算の計算練習で

- す。まちがえた問題は、もう一度やり直す習慣を身につけさせてください。
- ⑦⑧の0を含む計算に注意させましょう。
- 3 数のちがいはひき算で求めます。大きい方の数から小さい方の数をひきましょう。それぞれの数のちがいは、
- あ  $4 - 1 = 3$       い  $8 - 3 = 5$
- う  $9 - 6 = 3$       え  $5 - 4 = 1$
- 4 白組の人数の方が多いことを最初に

確認します。式を  $7 - 10 = 3$  としないように注意しましょう。

- 5 たし算とひき算の性質を考えさせる問題です。式の最初の数と答えの大きさがポイントです。
- ①  $7 \square 3 = 4$
- 7と4の大きさを比べます。4は7より小さいです。答えが式の最初の数より小さくなるのは、ひき算です。
- ②  $5 \square 4 = 9$
- 5と9の大きさを比べます。9は5より大きいです。答えが式の最初の数より大きくなるのは、たし算です。ブロックなどを用いて実感させましょう。

おうちのかたへ

ひき算をする場面として、「残りを求める(求残)」場面と「ちがいを求める(求差)」場面を学びます。なぜひき算になるのかを、具体的な場面を通して理解させるようにしてください。また、ひき算の計算も、カードなどを利用してくり返し練習することで、しっかり習熟させましょう。

8 10より大きいかず

ぴったり1 40 ページ

① いくつ あるでしょうか。

10と2で12  
10と10で20

② かずのせんを 見て こたえましょう。

① 10より4大きい かずは 14です。  
② 17より2小さい かずは 15です。

③ 大きいほうに○をつけましょう。

① 13 15      ② 19 18

( ) (○)      (○) ( )

ぴったり2 41 ページ

① □にあてはまる かずを かきましよう。

① 10と5で 15      ② 10と9で 19  
③ 16は10と6      ④ 14は10と4

② □にあてはまる かずを かきましよう。

① 15 16 17 18 19 20  
② 10 12 14 16 18 20  
③ 10より5大きい かずは 15です。  
④ 18より1小さい かずは 17です。

③ 大きいほうに○をつけましよう。

① 12 9      ② 17 14      ③ 16 20

(○) ( )      (○) ( )      ( ) (○)

ぴったり1 42 ページ

① いくつ あるでしょうか。

20と6で26      30と4で34

② かずを よみましよう。

① 28      ② 32

二十八      三十二

③ あてはまる かずを かきましよう。

① 23      ② 31

20 3      30 1

ぴったり2 43 ページ

① いくつ あるでしょうか。

② すうじて かきましよう。

① 二十七      ② 三十

二十七      三十

③ かずを よみましよう。

① 29      ② 33

二十九      三十三

④ あてはまる かずを かきましよう。

① 25      ② 32

20 5      30 2

ぴったり1

- 20までの数の数え方、よみ方、書き方を理解させます。11から20までの数を、声に出してよみながら書く練習をするとよいでしょう。
- ①数直線を使って求めます。10の目もりから右に4つ進んだ目もりの数を答えます。  
②17の目もりから、左に2つ進んだ目もりの数を答えます。
- ①13は10より3、15は10より5大きい数です。

ぴったり2

- 20までの数を「10といくつ」と考える練習です。
- ①1ずつ大きくなっていることがわかります。  
②2ずつ大きくなっていることがわかります。  
③④数直線を使って求めましよう。
- ③16は10より6、20は10より10大きい数です。

あげの5分レッスン

11から20までの かずは、「10といくつ」と かんがえよう。

ぴったり1

- 20より大きい数を、10のまとまりの数とばらでとらえます。  
①10と10で20、20と6で26(二十六)。  
②28は、20(二十)と8(八)だから、二十八。  
③22は、30(三十)と2(二)だから、三十二。  
④23(二十三)は、20(二十)と3(三)。  
⑤30(三十)と1(一)で31(三十一)。

ぴったり2

- 10の束が2個で20、20と4で24。
- ①207と書くまちがいに注意ましよう。  
②310と書くまちがいに注意ましよう。
- ①29は、20(二十)と9(九)だから、二十九。  
②33は、30(三十)と3(三)だから、三十三。
- ①20と5で25。  
②32は、30と2。



## 9 かずを せいりして

### ぴったり1 48 ページ

① のりものの かずを 見やすく せいりしました。

① りんごは **4**こあります。

りんご	バナナ	みかん	なし
りんご	バナナ	みかん	なし
りんご	バナナ	みかん	なし
りんご	バナナ	みかん	なし

② バナナは **2**こあります。

③ いちばん おおい くだものは **みかん**です。

④ なしと みかんでは、**みかん**が **2**こ おおいです。

### ぴったり2 49 ページ

① のりものの かずだけ いろを ぬりましょう。

① いちばん おおい のりものは なんでしょうか。 (**バス**)

② いちばん すくない のりものは なんでしょうか。 (**ひこうき**)

③ じてんしゃと トラックでは、どちらが なんだい おおいでしょうか。 (**じてんしゃ**)が (**1**)だい おおい。

## 10 かたちあそび

### ぴったり1 50 ページ

① おなじ なかまの かたちを えらびましょう。

① **い** (はこの かたち)

② **う** (ボールの かたち)

③ **あ** (つつの かたち)

④ **え** (さいころの かたち)

② かみに かたちを うつしました。 うつした かたちを えらびましょう。

① **い** (さんかく)

② **う** (ましかく)

③ **え** (まる)

④ **お** (ながしかく)

### ぴったり2 51 ページ

① おなじ なかまの かたちを せんで むすびましょう。

② かたちを うつして えを かきました。 どの かたちで うつしたでしょうか。

① **い** (まる)

② **う** (つつ)

③ **え** (はこ)

④ **お** (さいころ)

### ぴったり1

① ものの個数を絵グラフなどを使って整理すると、多い少ないなどの個数の特徴がわかりやすくなることを理解させましょう。

④ なしは3個、みかんは5個なので、ちがいは5-3=2(個)と計算で求めてもよいのですが、絵グラフでは、数のちがいが高さのちがいで表されます。多い分の個数だけ数えればよいことに気づかせましょう。

### ぴったり2

① 絵グラフをかくときは、まず、それぞれの乗り物の数を数えてからぬりましょう。

① 絵グラフがいちばん高い乗り物を答えます。

② 絵グラフがいちばん低い乗り物を答えます。

③ 自転車が1台分高くなっています。計算で求めるときは、

$$4 - 3 = 1 \text{ (台)}$$

となりす。

### ぴったり1

① 基本的な立体図形の特徴を理解させます。1年生では、4種類の立体図形を扱います。

①箱の形 ②ボールの形  
③つつの形 ④さいころの形

② 立体図形を構成している面の形(平面図形)を考える問題です。1年生では、4種類の平面図形を扱います。

①さんかく ②ましかく  
③まる ④ながしかく

### ぴったり2

① 立体図形の特徴をつかんで仲間分け

します。

② ①ましかくがあるのは、①のさいころの形です。

②まるがあるのは、③のつつの形で、ボールの形は正面から見るとまるに見えますが、形を紙に写し取ることはできません。

③さんかくがあるのは、④の三角柱です。

④ながしかくがあるのは、②のはこの形と⑤の三角柱ですが、④の形から②と判断します。

知識・技能 / 60でん

1 うつした かたちを せんで おすびましょう。 (1つ20でん(60でん))

思考・判断・表現 / 40でん

2 かたちを あてましょう。 (1つ20でん(40でん))

① まわりが ぜんぶ ながしかくの かたち。 (う)

② たいらな ところと まるい ところがある かたち。 (え)

- 1 平面図形を紙に写し取ることで、立体図形を構成している面の形をとらえることができます。実際に操作することで、立体図形と平面図形の関係性への理解を深めましょう。
- 2 言葉による立体図形の特徴の表現です。
  - ①箱の形の㊷を選びます。
 

㊷とするまちがいに注意して、さいころの形と箱の形をきちんと区別できるようにします。
  - ②つつの形の㊸を選びます。

㊸のボールの形は平らなところがありません。平面と曲面の両方あるのは、つつの形だけです。

おうちのみなへ

身近にある積木などの立体図形を積み重ねたり転がしたりすることで、その立体図形の特徴をとらえられるようにしましょう。また、立体図形から平面図形を写し取ることで、立体図形を構成している面の形をとらえ、仲間分けできるようにしてください。

1 ☆ ドッジボールを している 子どもが 12人 いました。3人 きました。 あわせて なん人に なったでしょうか。

しき  $12 + 3 = 15$  こたえ (15) 人

2 ☆ ことりが 13わ いました。3わ とんで きました。 のこりは なんわに なったでしょうか。

しき  $13 - 3 = 10$  こたえ (10) わ

3 ☆ 赤い チューリップが 15本 さいて います。 きいろい チューリップは 4本 さいて います。 どちらが なん本 おおいでしょうか。

しき  $15 - 4 = 11$  こたえ (赤い) チューリップが (11) 本 おおい。

5-4=1なので、10と1で11。  
また、答え方にも注意させましょう。

しあげの5分レッスン

ぶんしょうだいは、かんたんな ずを かいて かんがえよう。

- 1 「あわせて」なので、増加の場面のたし算です。ブロックの図を参考にして、計算のしかたを考えましょう。  
12は10と2、10と2+3で15。
- 2 「のこりは」なので、残りの数を求める求残の場面のひき算です。計算のしかたは、  
13は10と3、3-3=0なので、答えは10。
- 3 「どちらが何本多いか」なので、ちがいを求める求差の場面のひき算です。計算のしかたは、15は10と5、

# 11 3つの かずの たしざん、ひきざん

## ぴったり1 54 ページ

◎めあて  
3つの数のたし算やひき算の場面がわかり、式に表せるようにします。 れんしゅう ①②③

1 ぜんぶで なんわに なったでしょうか。  
4わ いました。 3わ ききました。 2わ ききました。

しき  $4 + 3 + 2 = 9$       こたえ **9** わ

4+3を さきに けいざんしよう。

◎めあて  
たし算とひき算のまじった場面がわかり、式に表せるようにします。 れんしゅう ②③④

2 なんこに なったでしょうか。  
5こ ありました。 2こ とりました。 3こ 入れました。

しき  $5 - 2 + 3 = 6$       こたえ **6** こ

5-2=3, 3+3=6  
これを 1つの しきに かくと、  
5-2+3に なるよ。

左から じゅんに けいざんしよう。

## ぴったり2 55 ページ

◎めあて  
3つの数のたし算やひき算の場面がわかり、式に表せるようにします。 れんしゅう ①②③

1 のこりは なん人で しょうか。  
9人 いました。 3人 かえりました。 2人 かえりました。

しき  $9 - 3 - 2 = 4$       こたえ (**4**) 人

! まろがいちゅうい

2 なんわに なったでしょうか。  
2わ ありました。 8わ おりました。 5わ あげました。

しき  $2 + 8 - 5 = 5$       こたえ (**5**) わ

◎めあて  
3つの数のたし算やひき算の場面がわかり、式に表せるようにします。 れんしゅう ①②③

3 けいざんを しましょう。  
5ようかしょ104~107ページで、3つの かずの けいざんを れんしゅうしよう。

①  $4 + 1 + 2 = 7$       ②  $13 - 3 - 5 = 5$   
③  $10 - 5 + 3 = 8$       ④  $12 + 6 - 7 = 11$

## ぴったり3 56~57 ページ

知識・技能 70てん

◎めあて  
3つの数のたし算やひき算の場面がわかり、式に表せるようにします。 れんしゅう ①②③

1 しきに かきましよう。  
かきが 10こ ありました。 4こ たべました。 3こ おちました。

しき  $10 - 4 - 3 = 3$

◎めあて  
3つの数のたし算やひき算の場面がわかり、式に表せるようにします。 れんしゅう ①②③

2 いもが 6本 ありました。 3本 入れました。 4本 たべました。

しき  $6 + 3 - 4 = 5$

◎めあて  
3つの数のたし算やひき算の場面がわかり、式に表せるようにします。 れんしゅう ①②③

3 けいざんを しましょう。  
5ようかしょ104~107ページで、3つの かずの けいざんを れんしゅうしよう。

①  $4 + 1 + 2 = 7$       ②  $13 - 3 - 5 = 5$   
③  $10 - 5 + 3 = 8$       ④  $12 + 6 - 7 = 11$

2 1つ5てん(30てん)  
けいざんを しましょう。

①  $2 + 8 + 5 = 15$       ②  $10 + 3 + 6 = 19$   
③  $10 - 4 - 1 = 5$       ④  $18 - 8 - 3 = 7$   
⑤  $12 + 3 - 4 = 11$       ⑥  $10 - 6 + 2 = 6$

思考・判断・表現 30てん

3 あめが 15こ ありました。  
おやつに 5こ たべました。  
その あと 8こ かって きました。  
いま、あめは なんこ ある でしょうか。

しき  $15 - 5 + 8 = 18$       こたえ (**18**) こ

◎めあて  
3つの数のたし算やひき算の場面がわかり、式に表せるようにします。 れんしゅう ①②③

4 あから ①の うち、5-3+2の しきを あらわす ものを えらびましよう。 (10てん)

あ

い

⑦

( **⑦** )

### ぴったり1

- 1 3つの数のたし算は左から順に計算します。  
 $4 + 3 = 7 \rightarrow 7 + 2 = 9$   
上の計算をすずめの絵と結びつけて理解するとよいでしょう。
- 2 りんごを2個取る → ひき算  
りんごを3個入れる → たし算  
 $5 - 2 = 3 \rightarrow 3 + 3 = 6$

### ぴったり2

- 1 3つの数のひき算も左から順に計算します。  
 $9 - 3 = 6 \rightarrow 6 - 2 = 4$

- 2  $2 + 8 - 5$   
 $\rightarrow 2 + 8 = 10 \rightarrow 10 - 5 = 5$
- 3 3つの数の計算は、左から順に計算します。
- ①  $4 + 1 + 2$   
 $\rightarrow 4 + 1 = 5 \rightarrow 5 + 2 = 7$
- ②  $13 - 3 - 5$   
 $\rightarrow 13 - 3 = 10 \rightarrow 10 - 5 = 5$
- ③  $10 - 5 + 3$   
 $\rightarrow 10 - 5 = 5 \rightarrow 5 + 3 = 8$
- ④  $12 + 6 - 7$   
 $\rightarrow 12 + 6 = 18 \rightarrow 18 - 7 = 11$

### ぴったり3

- 1 ①  $10 - 4 - 3 = 3$
- 
- ②  $6 + 3 - 4 = 5$
- 
- 2 ②  $10 + 3 + 6$   
 $\rightarrow 10 + 3 = 13 \rightarrow 13 + 6 = 19$
- ③  $10 - 4 - 1$   
 $\rightarrow 10 - 4 = 6 \rightarrow 6 - 1 = 5$
- ④  $18 - 8 - 3$   
 $\rightarrow 18 - 8 = 10 \rightarrow 10 - 3 = 7$

- ⑤  $12 + 3 - 4$   
 $\rightarrow 12 + 3 = 15 \rightarrow 15 - 4 = 11$
- ⑥  $10 - 6 + 2$   
 $\rightarrow 10 - 6 = 4 \rightarrow 4 + 2 = 6$
- 3  $15 - 5 + 8 = 18$
- 
- 4 5-3+2の意味は、「はじめに5個あって、そこから3個取った残りに2個たす」です。あといを式で表すと、あ…5+3+2 い…7-2-3 になります。



ぴったり3

62~63 ページ

知識・技能 / 80てん

1  に あてはまる かずを かきましょう。

9+4 の けいさんの しかた

① 9は あと 1 で 10  
 ② 4を 1と 3 に わける。  
 ③ 9と 1で 10  
 ④ 10と 3で 13

2     けいさんを しましょう。

①  $9+2=11$     ②  $8+8=16$   
 ③  $8+4=12$     ④  $6+9=15$   
 ⑤  $7+5=12$     ⑥  $9+8=17$

3 こたえが おおきい ほうに まる ○ を つけましょう。

①  $4+7$     $9+6$     ②  $9+3$     $19-8$   
 ( )   (○)    (○)   ( )

4 おなじ こたえに なる しきを せんで おすびましょう。

7+7    4+8  
 5+6    7+6  
 4+9    9+5  
 5+7    10+4-3

5    なしを、ゆみさんは 7こ、ひろしさんは 8こ とりました。あわせて なんこ とうたでしょうか。

しき  $7+8=15$     こたえ ( 15 ) こ

6 こたえが 16に なる たしざんを 2つ つくりましょう。

(れい)  $10+6=16$     (れい)  $9+7=16$

13 ひきざん

ぴったり1

64 ページ

ひかれる数を「10といくつ」に分ける、くり下がりあるひき算を理解します。

1 13-8の けいさんを します。

① 13は 10と 3  
 ② 10から 8を ひいて 2  
 ③ 3と 2で 5  
 ④  $13-8=5$

2 13-4の けいさんを します。

① 4は 3と 1  
 ② 13から 3を ひくと 10  
 ③ 10から 1を ひくと 9  
 ④  $13-4=9$

ぴったり2

65 ページ

1 けいさんを しましょう。

①  $11-9=2$     ②  $12-8=4$   
 ③  $13-9=4$     ④  $11-8=3$

2 けいさんを しましょう。

①  $14-5=9$     ②  $13-5=8$   
 ③  $11-2=9$     ④  $12-4=8$   
 ⑤  $15-8=7$     ⑥  $13-6=7$

3 みかんが 12こ ありました。9こ たべました。のこりは なんこに なったでしょうか。

しき  $12-9=3$     こたえ ( 3 ) こ

ぴったり3

- 1 くり上がりのあるたし算の計算のしかたを確認する問題です。たされる数やたす数と10をつくるという考え方を定着させましょう。
- 2 計算のしかたを確認しながら、速く正確にできるように練習させてください。
- 3 計算の答えの大小を問う問題です。  
 ①  $4+7=11$      $9+6=15$   
 ②  $9+3=12$      $19-8=11$
- 4 それぞれの式の答えを求めてから、同じ答えになる式を線で結ばせま

- しょう。
- $7+7=14$      $4+8=12$   
 $5+6=11$      $7+6=13$   
 $4+9=13$      $9+5=14$   
 $5+7=12$      $10+4-3=11$
- 5 合併の場面のたし算です。
- 6 答えが16になる2つの数のたし算はたくさんあります。くり上がって16になるもの、くり上がりのないものなどに分けて求めさせてもよいでしょう。

ぴったり1

- 1 ひかれる数の13を「10といくつ」に分解して、10からひく数の8をひいて、その結果に分解しておいた3をたします。  
 $13-8 \rightarrow 10-8+3 \rightarrow 2+3=5$
- 2 ひく数が小さいとき、ひく数を分解して、順にひいていく計算方法を使います。  
 $13-4 \rightarrow 13-3-1 \rightarrow 10-1=9$
- 1 2 のどちらの方法で計算してもかまいません。

ぴったり2

- 1 ①  $11-9 \rightarrow 10-9+1 \rightarrow 1+1=2$   
 ③  $13-9 \rightarrow 10-9+3 \rightarrow 1+3=4$
- 2 ①  $14-5 \rightarrow 14-4-1 \rightarrow 10-1=9$   
 ④  $12-4 \rightarrow 12-2-2 \rightarrow 10-2=8$   
 ⑤⑥は、どちらの計算方法でもかまいません。
- 3 残りの数を求める求残の場面のひき算です。

ぴったり1

66 ページ

① どのカードのこたえでしょうか。

① ① ② ③

うら おもて

4 14-7 15-9 11-7

② ① ② ③

うら おもて

8 12-4 18-9 11-5

②

① ② ③ ④

11-4 13-8 13-7 12-8

ひきざんは、だしぜんよりむすかしいので、たくせん れんしゅうしよう。

ぴったり2

67 ページ

① カードのおもてと うらを せんでむすびましょう。

おもて うら

12-7 9

16-9 5

11-8 3

15-6 7

② こたえが おなじになるカードを せんでむすびましょう。

17-8 13-5

12-6 16-7

11-3 14-8

ぴったり3

68~69 ページ

①  に あてはまる かずを かきましよう。

12-7の けいさんの しかた

① 12は 10と 2

② 10から 7を ひいて 3

③ 2と 3で 5

②  に あてはまる かずを かきましよう。

① 11-5=6 ② 13-7=6

③ 14-9=5 ④ 14-6=8

⑤ 12-3=9 ⑥ 15-7=8

③ こたえが おおきい ほうに  を つけましよう。

① 11-2 16-8 ② 13-4 17-6

( ) ( ) ( ) ( )

④ おなじ こたえになる しきを せんでむすびましよう。

17-9 15-6

11-6 13-5

16-7 15-8

12-5 10+2-7

⑤  に あてはまる かずを かきましよう。

バスに おきゃくが 14人 のって います。その うち 8人 は おとなです。子どもは なんん のって いるでしょうか。

しき  $14-8=6$  こたえ ( 6 ) 人

⑥  に あてはまる かずを かきましよう。

$11-2=9$

ぴったり1

- ① それぞれのカードの表の式の答えは、
- ①あ…7 ②い…6 ③う…4
- ②あ…8 ③い…9 ④う…6
- ② 答えが同じになるひき算の式を見つけます。
- ①あ…7 ②い…5 ③う…6 ④え…4
- 答えが同じになるカードを、ひかれる数が1ずつ大きくなるように並べると、右のような関係になります。
- 1ふえる  $\left. \begin{matrix} 11-6 \\ 12-7 \\ 13-8 \end{matrix} \right\}$  1ふえる

ぴったり2

- ① カードを使って、速く正確に計算できるように、くり返し練習させましょう。
- ② それぞれのカードの答えを求めてから、同じ答えになるカードを線で結ばせましよう。
- $17-8=9$   $13-5=8$
- $12-6=6$   $16-7=9$
- $11-3=8$   $14-8=6$

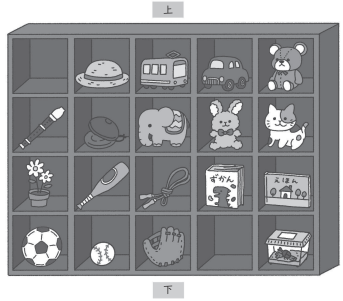
ひきざんの こたえを カードの よこにかいて おこう。

ぴったり3

- ① くり下がりのあるひき算の計算のしかたを確認する問題です。
- ② ①  $11-5 \rightarrow 10-5+1 \rightarrow 5+1=6$
- ③  $14-9 \rightarrow 10-9+4 \rightarrow 1+4=5$
- ⑤  $12-3 \rightarrow 10-3+2 \rightarrow 7+2=9$
- ③ 計算の答えの大きさを問う問題です。
- ①  $11-2=9$   $16-8=8$
- ②  $13-4=9$   $17-6=11$
- ④ それぞれの式の答えを求めてから、

- 同じ答えになる式を線で結ばせましよう。
- $17-9=8$   $15-6=9$
- $11-6=5$   $13-5=8$
- $16-7=9$   $15-8=7$
- $12-5=7$   $10+2-7=5$
- ⑤ バスのお客の人数から大人の人数をひいた残りが子どもの人数になることを理解させましよう。
- ⑥ ある数は、答えの9に2をたせば求められることに気づかせましよう。

★ものが おいて ある ばしょを こたえましょう。

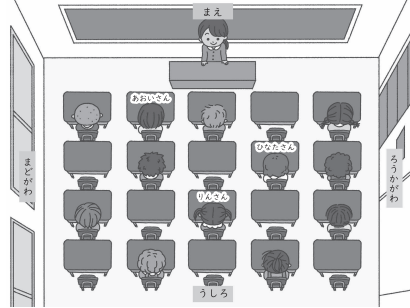


れい ぼうしは 上から 1だんめ、  
左から 2ばんめに あります。

- ① うさぎの ぬいぐるみは 上から 2だんめ、  
左から 4ばんめに あります。
- ② なわとびは 下から 2だんめ、  
右から 3ばんめに あります。

上、下、左、右の  
どこから かせえて  
いるかを かんがえよう。

★ みんなの つくえの ばしょを こたえましょう。



れい あおさんは まえから 1ばんめ、  
まどがわから 2ばんめに います。

- ① ひなたさんは まえから 2ばんめ、  
まどがわから 4ばんめに います。
- ② りんさんは うしろから 2ばんめ、  
ろうかがわから 3ばんめに います。

ひなたさんの ばしょを  
ちがう いいかたで  
せつめいして みよう！



★ 上下や左右など、2方向からのもの  
の位置の表し方を学習します。  
たとえば、ぼうしは上下方向につい  
ては「上から1段目」にあります。  
しかし、1段目にはぼうし、電車、車、  
くまのぬいぐるみと4つあって、正  
確な場所は特定できません。上下方  
向に加えて、左右方向について「左  
から2番目」と表して、初めて場所  
が1か所に決まることを理解させま  
しょう。このとき、「上から、下から」、  
「左から、右から」と基点を示すこと

を確認しておきましょう。この問題  
で問われている「うさぎのぬいぐる  
み」と「なわとび」以外のものについ  
ても、同じように表すことができる  
か、考えさせるとよいでしょう。

★ 前後、窓側・ろう下側の2方向から  
座席の場所を説明する問題です。  
ひなたさんの机は、「うしろから」3  
番目、「ろう下側」から2番目と説明  
することもできます。

①めねて 長さのいろいろな比べ方がわかるようにします。

① どちらが ながいでしょうか。

① ② ③ ④

はしを そろえよう。 のばすと どうなる？

③ ④

②と③の ながさを  
テープに うつして  
くらべて いるよ。

②めねて 鉛筆などを単位として、長さを数値化する意味を理解します。

② つくえの たてと よこの ながさは、どれだけ  
ちがうでしょうか。

たては、ゆび 4こぶん。  
よこは、ゆび 5こぶん。  
よこが、ゆび 1こぶん  
ながい。

① どちらが ながいでしょうか。

① ②

① ②

② ほん 本ばこの たかさを くらべました。  
に あてはまる ものを かきましよう。

④ ⑤

④は えんぴつ 4本ぶん。  
⑤は えんぴつ 3本ぶん。  
⑥が えんぴつ 1本ぶん  
たかい。

③ ながい じゆんに ④、⑤、⑥を ならべましよう。

④ ⑤ ⑥

④は えんぴつ の ながさは  
⑤の えんぴつ の ながさより  
ながい。

⑥は えんぴつ の ながさは  
④の えんぴつ の ながさより  
ながい。

- ① ①左端がそろっているので、右にと  
び出ている方が長いことになりま  
す。
- ②曲がっているものは、まっすぐに  
伸ばして比べるのが基本ですが、  
両端がそろっているので、曲がっ  
ている方が長いことになります。
- ③本の縦と横のように、端をそろえ  
て並べて比べられないものは、  
テープなどに長さを写し取って比  
べることができます。
- ② 指の間の長さを使って、机の縦と横

- の長さをそのいくつかで表します。
- ① ①左端がそろっているので、出ている  
方が長いことになります。
- ②両端がそろっているので、折れて  
いる方が長いことになります。
- ② 鉛筆の数で長さを比較することがで  
きるので、4-3=1で、鉛筆1本  
分④の本箱の方が高いことになりま  
す。
- ③ ④はます4個分、⑤は5個分、⑥は  
3個分の長さです。

ぴったり1

74 ページ

① 水は どちらに おおく 入るでしょうか。

② どちらが ひろいでしょうか。

ぴったり2

75 ページ

① 水は どちらが おおいでしょうか。

② どちらの 入れものが おおきいでしょうか。

③ どちらが ひろく ぬったでしょうか。

ぴったり3

76~77 ページ

① どちらが ながいでしょうか。

② えを 見て こたえましょう。

③ 赤と 青が おなじ ひろさになっ ている ものを 2つ えらびましょう。

③ テープを つかって、水そうの たて、よこ、 たかさの ながさを しらべました。 ながい じゅんに ならべましょう。

④ 水が おおく 入る じゅんに、①、②、③を ならべましょう。

⑤ 赤と 青が おなじ ひろさになっ ている ものを 2つ えらびましょう。

ぴったり1

- ① ①の容器いっぱいに入れた水を②の容器に移すと、②に入りきらないのであふれました。この結果、①の方が②よりも多く水が入ることがわかります。
- ② ①は7個分、②は9個分です。コップの数が多い方が多く入ることを理解させましょう。
- ③ ①と②の2辺をそろえて、直接重ねて広さを比べます。重ねて、はみ出た方が広いことに気づかせてください。

ぴったり2

- ① ①容器の大きさが同じなので、水面の高さが高い方が多く入っていることになりす。
- ② ②水面の高さが同じで、容器の大きさがちがっているため、容器が大きい方が多く入っていることになりす。
- ③ ③ますの数は、りかさんは13個、そうたさんは12個です。

ぴったり3


- ① ①紙の縦と横を、2辺をそろえて折って直接比較しています。とび出た方が長いことを確認させてください。
- ② ②①は4個分、②は6個分なので、 $6 - 4 = 2$ で、長さのちがいは2個分と求められます。
- ③ ③一方の端をそろえることで、3本のテープの長さが比べやすくなっていることに気づかせましょう。
- ④ ④コップの数は、  
①...7個 ②...5個 ③...8個
- ⑤ ⑤「同じ広さ」ということは、「ますの数が同じ」ということです。ますの数を数えて、赤いますと青いますの数が同じものを見つけます。  
①赤...8個 青...8個  
②赤...7個 青...9個  
③赤...8個 青...8個


15 大きな かず

ぴったり1

78 ページ

① いくつ あるでしょうか。

①  10が3こと、1が5ことで **35** です。

②  10が10ことで **100** です。

②  に あてはまる かずを かきましょう。

① 78より10大きい かずは **88** です。

② 47より2小さい かずは **45** です。

③ **99** より1大きい かずは100です。

ぴったり2

79 ページ

①  に あてはまる かずを かきましょう。

① 10を4こと、1を9こ あわせた かずは **49** です。

② 10を6こ あつめた かずは **60** です。

③ 52は、**10**を5こと、1を**2**こ あわせた かずです。

④ 39の十のくらの すう字は **3**、一のくらの すう字は **9** です。

② 大きい ほうに  を つけましょう。

① **96** **98** ② **76** **67**

( ) ( ) ( ) ( )

③  に あてはまる かずを かきましょう。

60 65 **70** 75 **80**

ぴったり1

- ① 10が3個で30、30と5で35。  
② 「10が10個で100」という考え方で100を表します。
- ① 78は、10を7個と1を8個あわせた数です。10大きい数は、10が8個になるので80。80と8で88になります。  
② 数の線を使って、47 → 46 → 45と2小さい数を求めます。  
③ 「□より1大きい数は100」は、「100より1小さい数は□」と言いかえられます。

ぴったり2

- ① 10が4個で40、40と9で49。  
② 10が6個で60です。  
③ 52は、50と2をあわせた数です。50は、10を5個あつめた数。2は、1を2個あつめた数。  
④ 2けたの数の左の数字が十の位、右の数字が一の位を表します。
- ② 2けたの数の大小比較は、先に十の位の数字を比べて、十の位が同じなら一の位の数字の大小を比べます。
- ③ 右へ進むにつれて5ずつ大きくなっていることがわかります。

ぴったり1

80 ページ

① いくつ あるでしょうか。

100と12を あわせた かずは **112** です。

② 大きい ほうに  を つけましょう。

① **110** **103** ② **116** **121**

( ) ( ) ( ) ( )

③  に あてはまる かずを かきましょう。

① 100より8大きい かずは **108** です。

② 110より3小さい かずは **107** です。

ぴったり1

- ① 100より大きい数は、「100といくつ」と考えて数を表します。
- ① 110は、100と10。103は、100と3。  
→ 110のほうが103より大きい。  
② 116は、100と16。121は、100と21。  
→ 121のほうが116より大きい。
- ① 100と8で108です。  
② 110は、100と10。10より3小さい数は7だから、100と7で107。

ぴったり2

81 ページ

① おりがみは なんまい あるでしょうか。

( **117** ) まい

② すう字で かきましょう。

① 百十三 ② 百二十

( **113** ) ( **120** )

③ 大きい ほうに  を つけましょう。

① **101** **120** ② **99** **114**

( ) ( ) ( ) ( )

④  に あてはまる かずを かきましょう。

① **116** **117** **118** **119** **120**

② **80** **90** **100** **110** **120**

ぴったり2

- ① 100の束が1つ、10の束が1つ、1が7つで117。
- ① 100と13で113。  
② 100と20で120。
- ① 「100といくつ」に分けて、「いくつ」の大きさを比べればよいことに気づかせましょう。  
② 99は100より小さい数、114は100より大きい数です。
- ④ ①は1ずつ、②は10ずつ大きくなっています。

# ぴったり1

82 ページ

① 30+10の けいさんの しかたを かんがえます。

10のまとまりで かんがえると、  
 $3+1=4$   
 10のまとまりが 4こで  $40$   
 $30+10=40$

② 32+5の けいさんの しかたを かんがえます。

32は、30と  $2$   
 一のくらいが、 $2+5=7$   
 $32+5=37$

# ぴったり2

83 ページ

① けいさんを しましょう。

①  $30+20=50$     ②  $40+60=100$   
 ③  $50-10=40$     ④  $90-70=20$

② けいさんを しましょう。

①  $86+2=88$     ②  $5+43=48$   
 ③  $7+60=67$     ④  $39-8=31$   
 ⑤  $46-2=44$     ⑥  $79-9=70$

③ あめを 28こ もって います。 4こ たべると、のこりは なんこに なるでしょうか。

しき  $28-4=24$     こたえ (  $24$  ) こ

# ぴったり3

84~85 ページ

① いくつ あるでしょうか。

①  $45$   
 ②  $113$

② 大きいほうに  $\bigcirc$ を つけましょう。

①  $46$   $64$     ②  $111$   $99$   
 ( ) (  $\bigcirc$  )    (  $\bigcirc$  ) ( )

③  $96$   $97$   $98$   $99$   $100$   
 ②  $70$   $68$   $66$   $64$   $62$   
 ③  $95$   $100$   $105$   $110$   $115$

④  $50+30=80$     ②  $20+80=100$   
 ③  $90-40=50$     ④  $70-60=10$   
 ⑤  $71+8=79$     ⑥  $5+20=25$   
 ⑦  $39-7=32$     ⑧  $86-6=80$

⑤ 赤い おりがみが 40まい、青い おりがみが 30まい あります。 あわせて なんまい あるでしょうか。

しき  $40+30=70$     こたえ (  $70$  ) まい

⑥ みかんが 37こ ありました。7こ たべました。 のこりは なんこに なったでしょうか。

しき  $37-7=30$     こたえ (  $30$  ) こ

# ぴったり1

- ① 10の束で考えると、  
 $30+10$ は $3+1$ とみることができ ます。10の束が、 $3+1=4$ (個) で40となります。
- ② 32は30と2、 $2+5=7$ 、30と7で37。

# ぴったり2

- ① ①10が、 $3+2=5$ (個)で50。  
 ②10が、 $4+6=10$ (個)で100。  
 ③10が、 $5-1=4$ (個)で40。  
 ④10が、 $9-7=2$ (個)で20。
- ② ①86は80と6、 $6+2=8$ 、80

- と8で88。  
 ②43は40と3、 $5+3=8$ 、8と40で48。  
 ④39は30と9、 $9-8=1$ 、30と1で31。  
 ⑤46は40と6、 $6-2=4$ 、40と4で44。  
 ⑥79は70と9、 $9-9=0$ 、70と0で70。
- ③  $28-4$ の計算は、一の位どうしのひき算をして、十の位とあわせま す。

# ぴったり3

- ① ①5個ずつ束になっています。 2束ずつ囲むと、10が4個と5で45。  
 ②100と10と3で113。
- ② 数の大小比較は、十の位の数字→一の位の数字の順に比べていくのが基本です。②はけた数がちがうので、3けた>2けたで判断することもできます。
- ③ ① $98$ - $99$ なので、1ずつ大きくなっています。  
 ② $70$ - $68$ なので、2ずつ小さく なっています。
- ④ ①~④は、10の束の数で計算しましょう。  
 ⑤~⑧は、一の位どうして計算をして、(何十)の数をあわせま す。
- ⑤ 合併の場面のたし算です。計算は、10の束が7個で70と求められま す。
- ⑥ 残りの数を求める求残の場面のひき算です。

16 なんじなんぷん

ぴったり12

86 ページ

① とけいを よみましょう。

みじかい はりが 3と  
4の あいだ → **3** じ〜

ながい はりが、  
30ぶんと あと 2めもり  
→ **32** ふん

→ **3** じ **32** ふん

① なんじなんぷんでしょうか。

① (4じ52ふん)    ② (8じ19ふん)    ③ (2じ5ふん)

ぴったり3

87 ページ

① おなじ ものを せんで むすびましょう。

② ながい はりを せんで かきましよう。

① (6:45)    ② (11:24)

さんすうワールド

88~89 ページ

① みかんは なんこ あるでしょうか。

② 2こずつ わけます。  
2こずつ ○で かこみましょう。

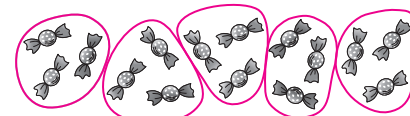
③ ②の ことを しきに あらわしましょう。

$$2 + 2 + 2 + 2 = 8$$

④ おなじ かずずつ 2人で わけると、  
1人ぶんは なんこに なるでしょうか。

しきに あらわすと  $4 + 4 = 8$

下の あめを、おなじ かずずつに わけます。



- ① あめは なんこ あるでしょうか。 (15)こ
- ② 3こずつ わけます。  
3こずつ ○で かこみましょう。
- ③ ②の ことを しきに あらわしましょう。
- $$3 + 3 + 3 + 3 + 3 = 15$$
- ④ おなじ かずずつ 3人で わけると、  
1人ぶんは なんこに なるでしょうか。
- $$5 + 5 + 5 = 15$$

ぴったり1

① 6では30分だから、30分と2目もり(2分)で32分になります。

ぴったり2

① ①短針は5に近いですが、まだ5時にはなっていません。したがって、4時台です。文字盤の数字の10は50分だから、それより2目もり進んでいるので、52分です。

ぴったり3

① 「時」は短針、「分」は長針をよみますが、文字盤の数字がそのまま「分」を表していないので、理解しにくいよ

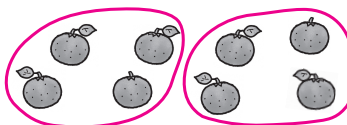
うです。長針の位置と「分」との関係をしっかり理解させてください。

② デジタル表示のよみ方も確認しておきましょう。

①文字盤の数字は5目もりおきについているので、1から順に5、10、15、……と数えると、45分は数字の9を指すことがわかります。

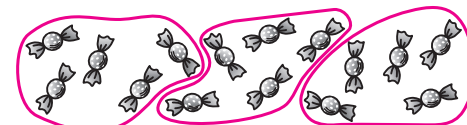
②24分は、20分と4分(4目もり)です。数字の4から4目もりめを指します。

- ① 具体物を、いくつかずつにまとめて数えたり、等分したりして、数に対する感覚を養います。これは、2年生や3年生で学習する「かけ算」や「わり算」につながる考え方です。
- ③2個ずつ分けると、4つに分けられることを確認させましょう。
- ④図を使って、2つに分けてみましょう。



4個ずつに分けると、2つに分けられることを確認させましょう。

- ③3個ずつ分けると、5つに分けられることを確認させましょう。
- ④図を使って、3つに分けてみましょう。



5個ずつ分けると、3つに分けられることを確認させましょう。

# 17 どんな しきに なるかな

## ぴったり1

90 ページ

① えみさんは まえから 4ばんめに います。えみさんの うしろには 3人 います。ぜんぶで なんん いるでしょうか。

しき  $4 + 3 = 7$       こたえ ( 7 ) 人

② 8人 ならんで います。けんたさんは まえから 3ばんめです。けんたさんの うしろには なんん いるでしょうか。

しき  $8 - 3 = 5$       こたえ ( 5 ) 人

## ぴったり2

91 ページ

① みほさんは まえから 5ばんめに います。みほさんの うしろには 2人 います。ぜんぶで なんん いるでしょうか。

しき  $5 + 2 = 7$       こたえ ( 7 ) 人

② 7人が じゅんばんに ゴールしました。りくさんは 3ばんめでした。りくさんの うしろには なんん いたでしょうか。

しき  $7 - 3 = 4$       こたえ ( 4 ) 人

## ぴったり1

- 「〇番目」のような順序を表す数は、そのままでは計算に使えないので、「前から4番目までの人数は4人」と考えて、4(人)+3(人)と立式します。順序を表す数を集まりを表す数に置きかえて計算に使う考え方を、○を用いた図に表して、数の関係をわかりやすくすることが大切です。
- 「前から3番目までの人数は3人」と考えて、8(人)-3(人)と立式します。

## ぴったり2

- 数の関係を図に表して考えましょう。
 

みほさんまでの人数は5人、後ろには2人いるので、たし算でぜんぶの人数が求められます。
- ゴールした全体の人数は7人、3番目にゴールした人までの人数は3人と考えて、7(人)-3(人)と立式し、後ろの人数を求めます。

## ぴったり1

92 ページ

① みなとさんは 貝を 7こ ひろいました。あすかさんは みなとさんより 3こ おおく ひろいました。あすかさんは なんこ ひろったでしょうか。

しき  $7 + 3 = 10$       こたえ 10 こ

② みかんが 9こ あります。りんごは みかんより 3こ すくないそうです。りんごは なんこ あるでしょうか。

しき  $9 - 3 = 6$       こたえ 6 こ

## ぴったり2

93 ページ

① ねこが 6びき います。犬は ねこより 3びき おおいです。犬は なんびき いるでしょうか。

しき  $6 + 3 = 9$       こたえ ( 9 ) びき

② あさがおの 花が 8本 さいて います。ひまわりの 花は あさがおより 4本 すくないそうです。ひまわりの 花は なん本 さいて いるでしょうか。

しき  $8 - 4 = 4$       こたえ ( 4 ) 本

## ぴったり1

- ある数をもとにして、それより多い場合はたし算で多い方の数を求めます。図を参考にして、数の関係を考えさせましょう。
- ある数をもとにして、それより少ない場合は、ひき算で少ない方の数を求めます。図を見て、数の関係をよみ取る力をつけることが大切です。

## ぴったり2

- 「犬はねこより3匹多い」ので、図からたし算で答えを求めることがわかります。

ぴったり3

94~95 ページ

知識・技能 /107ん

1 つぎの ばめんを あらわして いる ずを  
 ④、①から えらびましょう。 (107ん)

赤い おりがみが 4まい あります。  
 青い おりがみは 赤い おりがみより  
 2まい すくないです。

④ 赤 ○○○○ ① 赤 ○○○○  
 青 ○○○○○○ 青 ○○○○

思考・判断・表現 /90てん

2 そうたさんは まえから 4ばんめに います。  
 そうたさんの うしろには 6人 います。  
 ぜんぶで なん人 いるでしょうか。  
 ずの □に あてはまる かずを 入れて  
 きたえましょう。 (90てん)

4ばんめ 6人  
 まえ ○○○○ ○○○○  
 ぜんぶで 10人

しき  $4+6=10$  こたえ (10)人

3 ふとうが 10まい あります。  
 カードは ふとうより 4まい すくないです。  
 カードは なんまい あるでしょうか。 (107てん(20てん))

しき  $10-4=6$  こたえ (6)まい

4 はるさんは 7人の チームで リレーに 出ます。  
 はるさんの あとには 2人 はしるそうです。  
 はるさんは まえから なんばんめに  
 はしるでしょうか。 (107てん(20てん))

はる 2人  
 まえ ○○○○ ○○○○  
 7人

しき  $7-2=5$  こたえ (5)ばんめ

5 なおさんは おはじきを 4こ もって います。  
 ひろとさんは なおさんより 1こ おおく もって  
 います。りかさんは ひろとさんより 3こ おおく  
 もって います。  
 りかさんは おはじきを なんこ もって  
 いるでしょうか。 (107てん(20てん))

しき  $4+1+3=8$  こたえ (8)こ

18 かたちづくり

ぴったり1

96 ページ

色板を使って、三角形や四角形の構成や分解ができるようにします。 (れんしゅう)

1 つぎの かたちは、右の いろいろたを  
 なんまい つかうと できるでしょうか。 (107てん)

① ②

①は しかく、②は さんかくだぬ。

2 ストローを使って形を作り、図形の要素に関する理解を深めます。 (れんしゅう)

2 ストローで かたちを つくりました。  
 なん本 つかったでしょうか。 (107てん)

① ② ③

①は しかく、②は さんかくだぬ。

しき  $4$ 本  $3$ 本  $7$ 本

ぴったり2

97 ページ

1 つぎの かたちは、右の いろいろたを  
 なんまい つかうと できるでしょうか。 (107てん)

① ② ③

しき (2)まい (3)まい (4)まい

2 ストローを なん本 つかったでしょうか。 (107てん)

① ②

しき (6)本 (9)本

3 と・を せんで むすんで、つぎの かたちを  
 かきましょう。 (107てん)

① ②

ぴったり3

- ④の図は、「青い折り紙は、赤い折り紙より2枚多い」を表しています。
  - 図の□に数を入れて、数の関係を考えます。「前から4番目までの人数は4人」と考えて、4(人)+6(人)と立式し、ぜんぶの人数を求めましょう。
  - 数の関係を図に表して考えましょう。
- ふとう ○○○○○○○○○○○○  
 カード ○○○○○○  
 4まい すくない
- ④ 図から、7(人)-2(人)のひき算で、

前からはるさんまでの人数を求めます。「前からはるさんまでの人数は5人」ということから、はるさんは前から5番目に走ることがわかります。

5

なお ○○○○ 1こ おおい  
 ひろと ○○○○ ○○○○ 3こ おおい  
 りか ○○○○ ○○○○ ○○○○ □こ

図に表すと、数の関係がわかりやすくなります。  
 ひろとさんは、 $4+1=5$ (個)  
 りかさんは、 $5+3=8$ (個)

ぴったり1

- 色板を使って、実際に並べてみるとよいでしょう。
- 「しかく」は4本のストローで、「さんかく」は3本のストローで構成できることを理解させます。

ぴったり2

1

① ②

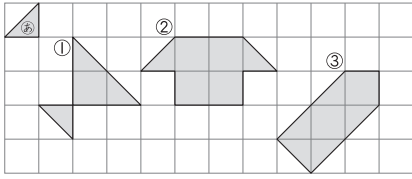
- もとの色板の形は、正方形を2つ折りにして切ることができる三角形(直角二等辺三角形)です。
- 印をつけながら丁寧に数え、数えまちがないようにしましょう。
- 点と点を直線で結ぶことによって、いろいろな形をつくることができます。点と点を結んだ直線は、平面図形の1辺になっていることに気づかせましょう。

ぴったり3

98~99 ページ

知識・技能 / 50てん

1 ①④⑦ つぎの かたちは、③の さんかくを なんまい つかうと できるでしょうか。 1つ10てん(30てん)



① (5)まい ② (10)まい ③ (9)まい

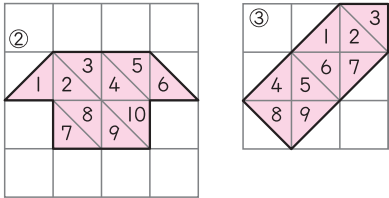
2 ①④⑦ ストローを なん本 つかったでしょうか。 1つ10てん(20てん)



(6)本 (10)本

ぴったり3

1 ③の三角形2枚で、方眼の ますの1つ分の正方形(ましかく)ができることを手がかりに 考えさせます。



2 数えもれがないように、印をつけながら、ストローの数を数えさせましょう。

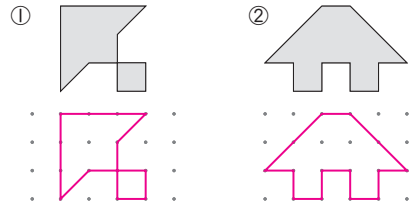
3 点と点を直線で結んで、同じ形をつくります。

4 次のように動かしています。

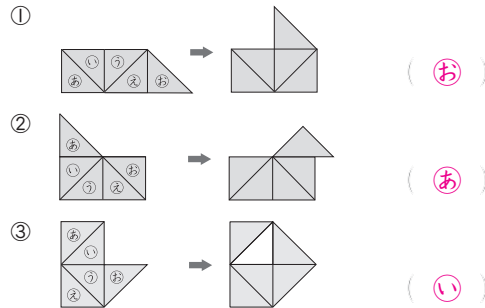


思考・判断・表現 / 50てん

3 てん ・ を せんで おすんで、つぎの かたちをかきましょう。 1つ10てん(20てん)



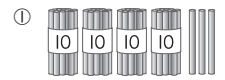
4 | ไม้ だけ うごかして 右の かたちをつくりました。どの いろいたを うごかしたでしょうか。 1つ10てん(30てん)



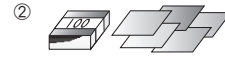
まどめのテスト

100 ページ

1 いくつ あるでしょうか。 1つ10てん(20てん)



(43)



(105)

2 ①に あてはまる かずをかきましょう。 ①>10てん(30てん)

① 65は、10を ⑥ こと 1を ⑤ こと あわせた かずです。

② 100は、10を ⑩ こと あつめた かずです。

3 おが 大きい ほうに 〇を つけましょう。 1つ10てん(30てん)

① 32 29 (○) ( )

② 84 87 ( ) (○)

③ 106 95 (○) ( )

4 ③、④に あてはまる かずを こたえましょう。 1つ5てん(20てん)

① 60 70 ③ 90 ④

③ (80) ④ 100

② 100 ③ 115 120

③ 105 ④ 110

② 10が10個集まると100になることを確認させましょう。

3 ① 十の位の数字に注目させましょう。十の位の数字は、10が何個あるかを表している数なので、十の位の数字が大きい方が大きい数と判断できます。

② 十の位の数字はどちらも8で同じです。このようなときは、一の位の数字を比べます。

84 87

→7の方が大きい→87の方が大きい

③ 106は100より大きい数、95は100より小さい数です。このように、3けたの数は、2けたの数より大きくなります。

4 数の並び方(系列)の問題です。数がどのように並んでいるかを調べさせます。

① 10ずつ大きくなっています。

③は、70より10大きい数で80、④は、90より10大きい数で100です。

② 5ずつ大きくなっています。

③は、100より5大きい数で105、④は、105より5大きい数で110です。

1 大きな数は、「10がいくつとばら がいくつ」で数えます。

① 10の束が4つとばらが3本なので、40と3で43(本)になります。

② 100枚の束が1つとばらが5枚なので、100と5で105(枚)になります。位取りをまちがえて、1005としないように注意させてください。

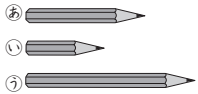
2 ① 65は60と5をあわせた数です。60は10を6個、5は1を5個集めた数です。



# まじめの テスト

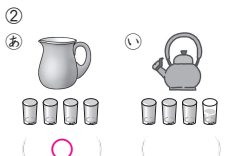
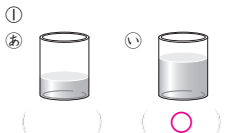
103 ページ

① ながい じゆんに ⑥、  
①、③を かきましよう。(20てん)

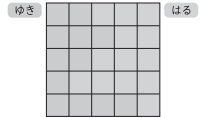


(③ → ⑥ → ①)

② みずが おおく 高い 入って  
いる ほうに ①を  
つけましよう。(15てん・30てん)



③ どちらが ひろく  
ぬったでしようか。(20てん)



(はる)

④ とけいを よみましよう。(10てん・30てん)



(3じ10ぶん)



(7じ55ぶん)



(11じ53ぶん)

- ① 長さの直接比較です。3本の鉛筆の左端がそろっていることを確認しておきましょう。
- ② ① 同じ大きさの容器に入れた水のかさを比べます。水面が高い方が多く入っています。  
② 同じ大きさのコップの数で比べます。コップの数が多い方が水が多く入っています。  
⑥…4個分  
①…3個と少し

- ③ 方眼のますの数で広さが比べられることを理解させましょう。  
ゆき…ます 12個分  
はる…ます 13個分
- ④ 短針が表す「時」→長針が表す「分」の順に、時刻をよみましょう。  
① 短針は3と4の間にあるので「3時」。長針は数字の2を指しているので「10分」。  
② 短針は7と8の間にあるので「7時」。長針は数字の11を指しているので「55分」。  
③ 短針は11と12の間にあるので「11時」。長針は数字の10(50分)から3分進んでいるので「53分」。

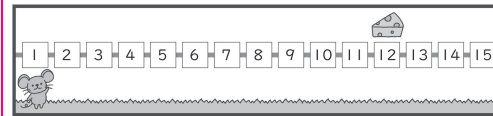
# プログラミングに ちょうせん

104 ページ

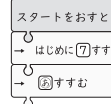
ねずみが チーズの ところまで いける ように、  
つぎの ような カードを つかって、ゴールまでの  
すすみかたを おしえて あげます。



①の なかには  
すすむが 入るよ!

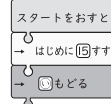


① 12までの すすみかたを、  
カードを つかって しじします。  
右の ①には、いくつを  
入れれば よいでしょうか。



(5)

② 12までの すすみかたを、  
①とは ちがう カードを つかって  
しじします。  
右の ②には、いくつを  
入れれば よいでしょうか。



(3)

- ① 12までの進み方を指示する問題です。スタートをおすと、「はじめに7すすむ」という指示がされているので、まず右に7進みます。12まではあと右に5進めばよいので、「5すすむ」という指示をすれば、ねずみはチーズまでたどり着くことができます。
- ② ①とは違う指示をして、12までの進み方を考える問題です。スタートをおすと、「はじめに15すすむ」という指示がされているので、まず右に15進みます。12まではあと左に3進めばよいので、「3もどる」という指示をすれば、ねずみはチーズまでたどり着くことができます。

他にもいろいろな指示をして、ゴールまでの指示のしかたを考えてみましょう。操作がわかりにくい場合は、ブロックなどを使って実際に動かしてみるとよいでしょう。

## おうちのみなへ

プログラミングは、目的に応じてどのような動きの組み合わせが必要なのか、それぞれの動きがどのような命令なのか、どのように組み合わせればよいのか、うまくいかない場合の原因は何か、どのように修正すればよいのかなどを繰り返し考えることによって、論理的思考力を身につけるための学習活動です。ここでは、「すすむ」、「もどる」といった2種類の指示によって、どのようにねずみが動くのかを考えていきます。

## なつのチャレンジテスト

きょうかしょ 2~76ページ

月 日

なまえ

しかん

40ふん

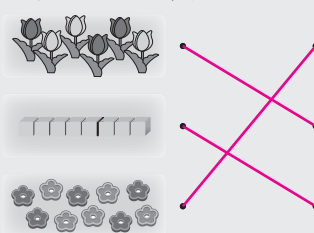
ごうかく80てん


/100

こたえ 31ページ

知識・技能 /72てん

**1** おなじ かずの ものを せんで おすびましょう。 1つ2てん(6てん)





6

はち

**2** かずが おおきい ほうに まるをつけましょう。 1つ3てん(6てん)

① 

10	9
○	□

② 

6	8
□	○

**3** しかく □ に あてはまる かずを かきましょう。 1つ3てん(6てん)

① 


2	4	6	8
---	---	---	---

② 


10	9	8	7
----	---	---	---

**4** いろを ぬりましょう。 1つ3てん(6てん)


① ひだりから 2ひき




② ひだりから 3びきめ



**5** とけいを よみましょう。 1つ4てん(8てん)

①   
7じ

②   
3じはん

**6** □ に あてはまる かずを かきましょう。 1つ3てん(12てん)

① 1と 3で 4

② 5と 5で 10

③ 2と 6で 8

④ 3と 7で 10

- 1** 10までの数で、具体物と半具体物(ブロックや●の数)と数字の関係が理解できているかを確認しましょう。また、具体物を数えるときにも数えまちがないように、数え終わったものに印をつけるなどの工夫をすることも身につけてください。
- 2** 数の大小比較をする問題です。数字だけで比較できるのが目標ですが、量感がもてないときは、おはじきやブロックなどを用いて具体的に考えさせてください。
- 3** 数の並び方を理解しているかをみる問題です。まず、数がどのように並んでいるかを調べさせましょう。①は2ずつ大きく、②は1ずつ小さくなっています。
- 4** 数は数量を表すだけでなく、「3番目」のように順序も表します。集まりを表す数と順序を表す数とのちがいを、しっかり理解させてください。
  - ① 左から順に、2匹のうさぎに色をぬります。
  - ② 左から3番目のねこだけに色をぬります。
- 5** 短針で「〇時」をよみます。長針が12を指すときは「〇時」、6を指すときは「〇時半」とよむことを確認しましょう。
- 6** ①②は数の合成、③④は分解の問題です。

日常生活の中で、具体物を使って練習させると、理解が深まるでしょう。

7 ㊦から ㊧の うち、かずのちがいが 4の ものを 2つ えらびましょう。 1つ4てん(8てん)

㊦ 

5	2
---	---

3	7
---	---

㊧ 

8	10
---	----

4	0
---	---

(㊦) と (㊧)

8 おなじ こたえに なる しきを せんで おすびましょう。 1つ4てん(20てん)

2+7
-----

7-2
-----

4+2
-----

8-1
-----

1+6
-----

10-2
------

7+1
-----

9-3
-----

2+3
-----

10-1
------

思考・判断・表現 / 28てん

9 がようしを、6にんに 1まいずつ くばりました。がようしは、まだ 4まい のこって います。 がようしは、ぜんぶで なんまい あったでしょうか。 1つ5てん(10てん)

しき  $6+4=10$

こたえ (10) まい

10 いぬが 5ひき、ねこが 7ひき います。ねこは いぬより なんびき おおいでしょうか。 1つ5てん(10てん)

しき  $7-5=2$

こたえ (2) ひき

11  に あてはまる +か -を かきましょう。 1つ4てん(8てん)

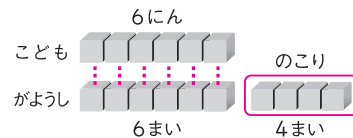
- ①  $6+2=8$
- ②  $6-2=4$

7 数のちがいは、大きい方の数から小さい方の数をひいて求めます。

8 10までの数の、くり上がり・くり下がりのないたし算・ひき算の練習です。

$2+7=9$      $7-2=5$   
 $4+2=6$      $8-1=7$   
 $1+6=7$      $10-2=8$   
 $7+1=8$      $9-3=6$   
 $2+3=5$      $10-1=9$

9 人の数をものの数に置きかえて、「6人に配った画用紙は6枚」と考えて式をつくります。



10 「何匹多いか」という差を求める場面のひき算です。

ひき算は、大きい方の数から小さい方の数をひいて求めます。式を  $5-7=2$  としないように注意させてください。

11 たし算やひき算の意味がわかっているかをみる問題です。式の初めの数と答えを比べて、たし算かひき算かを判断します。



# ふゆのチャレンジテスト

きょうかしよ 77~147ページ

なまえ

月 日

しかん 40ふん

ごうかく80てん

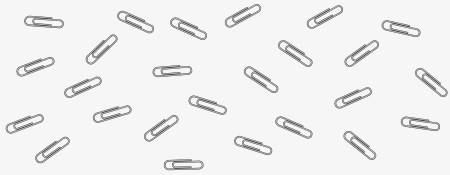
/100

こたえ 33ページ

知識・技能

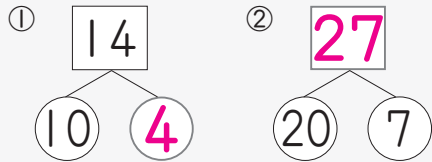
84てん

1 いくつ あるでしょうか。(5てん)

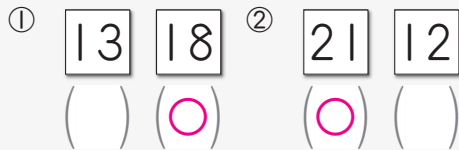


(25)

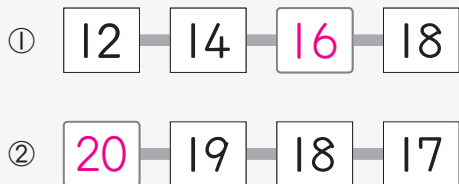
2 あてはまる かずを かきましょう。(1つ3てん(6てん))



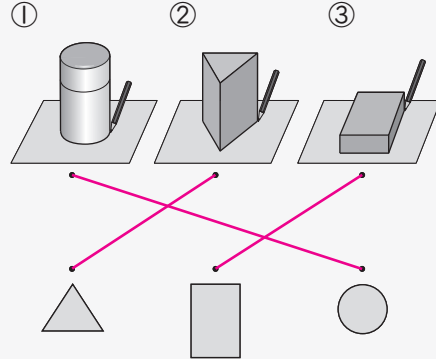
3 おお 大きい ほうに まる つけましょう。(1つ3てん(6てん))



4 <sup>しかく</sup> に あてはまる かずを かきましょう。(1つ3てん(6てん))



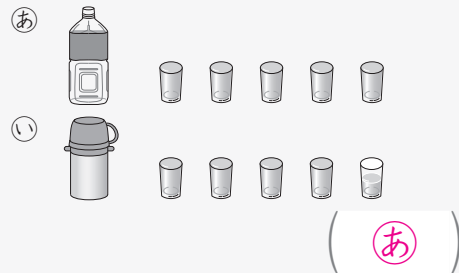
5 うつした かたちを せんで むすびましょう。(1つ3てん(9てん))



6 どちらが ながいでしょうか。ながい ほうに ○を つけましょう。(4てん)

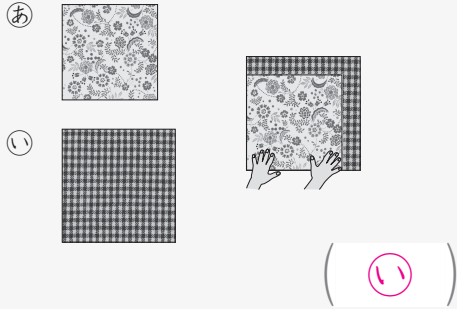


7 <sup>みず</sup> 水は どちらが おおいでしょうか。(4てん)



- 10ずつ線で囲むなどして、「10のまとまりがいくつと、ばらがいくつ」と数えます。
- ①は数の分解、②は合成です。数を「何十といくつ」と考える問題です。
- 10より大きい数の大小を考える問題です。数の線を使って、大きさを確かめさせましょう。
- 数の並び方(系列)を考える問題です。まず、数がどのように並んでいるかを調べます。①は2ずつ増加、②は1ずつ減少しています。
- 立体図形の平面から平面図形を写し取る問題です。実際に積み木などを使って、紙に写し取ってみるとよいでしょう。写し取った形は左から、「さんかく」「ながしかく」「まる」です。
- くさり1個分の長さが同じであることから、くさりの数で比べればよいことに気づかせます。
- 入れ物に入る水のかさ(容積)を、同じ大きさのコップの数で比べます。

8 あと いでは、どちらが ひろいでしょうか。 (4てん)



9 けいさんを しましょう。 (1つ4てん(32てん))

①  $10+6=16$

②  $6+4+7=17$

③  $8+7=15$

④  $6+9=15$

⑤  $17-3=14$

⑥  $12-2-4=6$

⑦  $16-7=9$

⑧  $12-9=3$

10 こたえが 大きい ほうに ○を つけましょう。 (1つ4てん(8てん))

①  $7+5$   $9+5$   
( ) (○)

②  $18-9$   $17-9$   
(○) ( )

思考・判断・表現 /16てん

11 そうたさんは シールを 6まい もって います。 7まい もらうと、シールは なんまいに なるでしょうか。 (1つ4てん(8てん))

しき  $6+7=13$   
こたえ (13) まい

12 まつぼっくりを 13こ ひろいました。その うち 9こを かざりに つかいました。 のこりは なんこでしょうか。 (1つ4てん(8てん))

しき  $13-9=4$   
こたえ (4) こ

8 2辺をそろえて直接重ねることで、はみ出した方が広さ(面積)が広いことがわかります。

9 いろいろな計算練習です。 ②⑥3つの数の計算は左から順に計算します。

③④くり上がりに注意して計算します。

⑦⑧くり下がりに注意して計算します。

10 それぞれのカードの式を計算してから、答えの大小を比べます。

①  $7+5=12$   
 $9+5=14$   
だから、 $9+5$ のほうが大きくなります。

②  $18-9=9$   
 $17-9=8$   
だから、 $18-9$ のほうが大きくなります。

11 「もらうと」増えるので、増加の場面のたし算です。文章から、場面を具体的に考えさせましょう。

12 「のこりは」なので、求残の場面のひき算です。

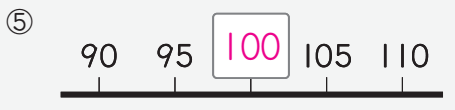
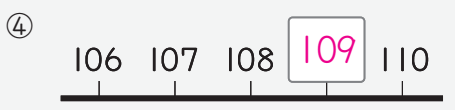
知識・技能 /72てん

1 <sup>しかく</sup> □にあてはまる かずをかきましょう。 □1つ3てん(18てん)

① 67は、10を **6** こと、1を **7** こ あわせた かずです。

② <sup>いち</sup>一のくらの <sup>じ</sup>すう字が 4、<sup>じゅう</sup>十のくらの <sup>すう</sup>字が 8のかずは **84**です。

③ 90より **10** <sup>おお</sup>大きい かずは100です。



2 大きい ほうに <sup>まる</sup>○をつけましょう。 □1つ4てん(8てん)

① 

102	98
(○)	( )

 ② 

109	118
( )	(○)

3 けいさんを しましょう。 □1つ4てん(24てん)

①  $30+70=$  **100**

②  $23+5=$  **28**

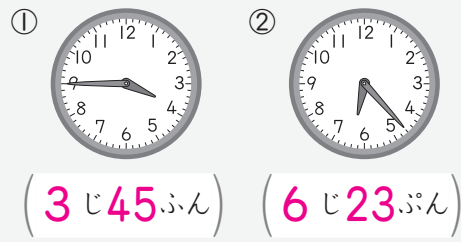
③  $6+82=$  **88**

④  $80-20=$  **60**

⑤  $49-4=$  **45**

⑥  $78-7=$  **71**

4 なんじなんぷんでしょうか。 □1つ5てん(10てん)



1 ①67は、十の位の数字が6だから、10が6個あること、一の位の数字が7だから、1が7個あることを理解しているかどうかを確認します。

②一の位の数字が先に書かれているので、48とってしまうまちがいが見られます。  
2けたの数では、十の位の数字は左、一の位の数字は右に置かれることを確認させましょう。  
「十のくらい」「一のくらい」は、1年生で学習する算数用語で重要なものです。その意味を、数の構成を考えさせながらしっかり理解させましょう。

③100という数はどんな数か、いろいろ考えさせるとよいでしょう。

④⑤数の並び方(系列)の問題です。  
④は1ずつ、⑤は5ずつ大きくなっています。

2 数の大小比較の問題です。  
①102は100より大きい数、98は100より小さい数なので、102の方が大きいとわかります。  
②どちらも100より大きい数なので、「100といくつ」に分けて考えます。「いくつ」の部分で大きさを比べられることに気づかせましょう。

3 ①④何十のたし算・ひき算です。  
10の束で考えると、1けたの計

算で求められます。  
①は、 $3+7=10$ 、10が10個で100。  
④は、 $8-2=6$ 、10が6個で60。

②③⑤⑥くり上がりやくり下がりのない2けたと1けたのたし算・ひき算です。一の位の計算で答えを求めます。

②一の位が $3+5=8$ で、答えは28。

③一の位が $6+2=8$ で、答えは88。

⑤一の位が $9-4=5$ で、答えは45。

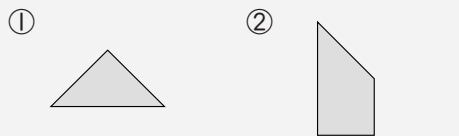
⑥一の位が $8-7=1$ で、答えは71。

4 短針が「時」、長針が「分」を表していることを確認させましょう。

①短針は3と4の間なので「3時」、長針は数字9を指しているので「45分」になります。

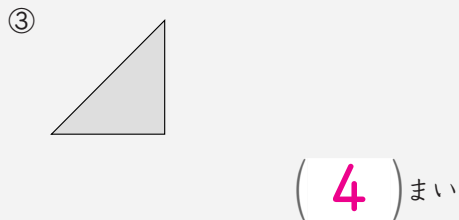
②短針は6と7の間なので「6時」、長針は数字4(20分)から3つ進んだ目もりを指しているので「23分」になります。

5 つぎのかたちは、右の  
いろいろを なんまい  
つかうと できる  
でしょうか。



① (2)まい

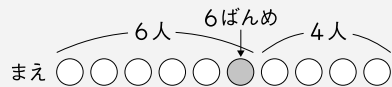
② (3)まい



(4)まい

思考・判断・表現 / 28てん

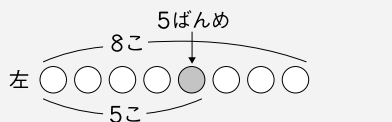
6 さとしさんは まえから  
6ばんめに います。さとしさんの  
うしろには 4人 います。  
ぜんぶで なん人 いるでしょうか。



しき  $6 + 4 = 10$

こたえ (10)人

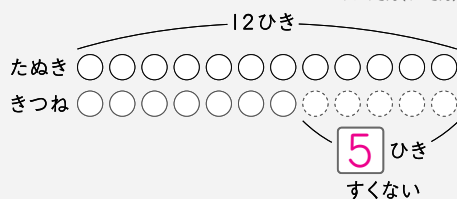
7 うえきばちが よこに 8こ なら  
んで います。左から 5ばんめ  
のはちまで 水を やりました。  
あと なんこの はちに 水を  
やれば よいでしょうか。



しき  $8 - 5 = 3$

こたえ (3)こ

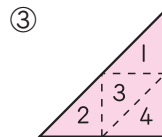
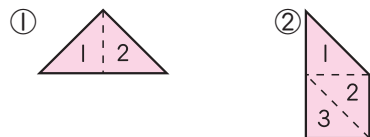
8 たぬきが 12ひき います。  
きつねは、たぬきより 5ひき  
すくないそうです。  
きつねは なんびき いる  
でしょうか。



しき  $12 - 5 = 7$

こたえ (7)ひき

5 それぞれの形を、色板(直角二等辺  
三角形)の形に分けてみましょう。  
向きを変えたり、裏返したりして並  
べていることを理解させましょう。



6 順序を表す数「6番目」を、集まりを  
表す数「6人」に置きかえて計算する  
問題です。

「前から6番目までの人数は6人」と  
考えて、 $6(人) + 4(人)$ と立式して答  
えを求めます。  
また、図に表すと、数量の関係がと  
らえやすくなります。図で確認させ  
ましょう。

7 図を参考にして、「左から5番目ま  
でのうえきばちの個数は5個」と考  
えて、 $8(こ) - 5(こ)$ と立式して答え  
を求めます。

順序を表す数は位置を表しているの  
で、計算をするためには集まりを表  
す数(数量)に置きかえなければなら  
ないことを理解させましょう。

8 ある数より多い数を求めるときはた  
し算、少ない数を求めるときはひき  
算を使います。  
「きつねの数は、たぬきの数12匹

より5匹少ない」ので、ひき算で答  
えを求めます。  
○を使った図を参考にして、文章の  
内容をきちんと理解することが大切  
です。  
最終的には、文章題の内容を自分で  
図に表せるようになるとよいでしょ  
う。

1 □に かずを かきましょう。  
1つ2てん(4てん)

① 10が 3こと 1が 7こで  
**37**

② 10が 10こで **100**

2 □に かずを かきましょう。  
□1つ3てん(12てん)

① **44** 46 48 **50** 52

② 100 90 **80** **70** 60

3 けいさんを しましょう。1つ3てん(18てん)

①  $8+6=$  **14**    ②  $14-9=$  **5**

③  $0-0=$  **0**    ④  $30+40=$  **70**


⑤  $33+4=$  **37**    ⑥  $29-7=$  **22**

4 11人で キャンプに いきました。  
 その うち 子どもは 7人です。  
 おとなは なん人ですか。1つ3てん(6てん)

しき  **$11-7=4$**


こたえ ( **4** ) 人

5 なんじなんぷんですか。 (3てん)

 ( **2じ45ふん** )

6 あ～えの なか 中から たかく つめる かたちを すべて こたえましょう。  
(ぜんぶできて 3てん)

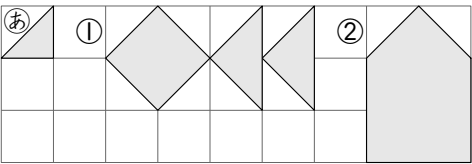
あ い う え



( **あ、い、え** )

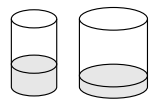
7 した 下の かたちは、あの いろいろ いたが なんまいで できますか。 1つ3てん(6てん)

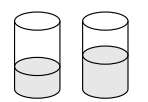
あ



① ( **8** ) まい    ② ( **10** ) まい

8 みず 水の ただ かさを くらべます。正しい くらべかたに ○を つけましょう。  
(4てん)

①  ( )

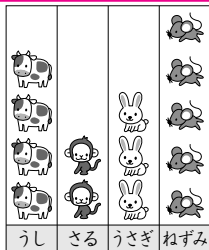
②  ( **○** )

- ① 10が3個で30、30と7で37です。  
 ② 10が10個で100になります。
- 与えられた数の並びから、きまりをみつけ、あてはまる数を求めます。  
 ① 2ずつ大きくなっています。  
 ② 10ずつ小さくなっています。
- ③ もとの数に0をたしたり、もとの数から0をひいたりしても、答えはもとの数のままです。  
 ④ 30は10が3個、40は10が4個だから、 $30+40$ は、10が(3+4)個で、70です。
- あわせて11人いるから、おとなの人数は、全体の人数から子どもの人数をひけば求められます。
- 時計の表す時刻を読み取ります。短針で何時、長針で何分を読みます。「3じ45ふん」とする間違いがよくあります。短針が2と3の間にあることに注意しましょう。
- あとえは、箱の形、いは筒の形で、重ねて積み上げることができます。答えの順序が違っていても正解です。
- 図に線をひいて考えます。四角1マス分の形は、あの色板2枚でつくることができます。
- 同じ大きさの容器を使うと、入った水の水面の高さで比べることができます。

9 どうぶつのかずをしらべてせいりしました。

1つ4てん(8てん)

① いちばん おおい どうぶつは なんですか。



( ねずみ )

② いちばん おおい どうぶつと  
いちばん すくない どうぶつ  
ちがいは なんびきですか。

( 3 ) びき

10 バスでいて バスを まって  
います。

1つ4てん(12てん)



① まって いる 人は 7人 いて、  
みなとさんの まえには 4人  
ならんて います。みなとさんは  
うしろから なんばんめですか。

うしろから ( 3 ) ばん目

② バスが きました。バスには は  
じめ 3人 のって いました。こ  
の バスでいて まって いる 人  
みんなが のり、つぎの バスで  
いて 5人が おりました。バスには  
いま なん人 のって いますか。

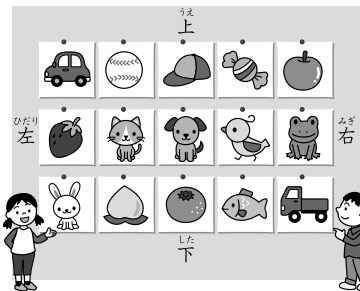
しき  $3+7-5=5$

こたえ ( 5 ) 人

活用力をみる

11 かべに えを はって います。□  
に はいる ことばを かきましょう。

□1つ4てん(16てん)



① さかなの えは みかんの えの

( 右 ) に あります。

② いちごの えは 車の えの

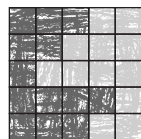
( 下 ) に あります。

③ 犬の えは ( れい ) みかんの えの

( 上 ) に あります。

12 ゆいさんと さくらさんは じゃん  
けんで かったら □を 1つ ぬる  
ばしょとりあそびを しました。どち  
らが 勝ちましたか。その わけも  
かきましょう。

1つ4てん(8てん)



□...ゆいさん

■...さくらさん

かったのは ( さくら ) さん

わけ ( れい ) さくらさんの ほうが ぬった  
□の かずが おおいから。

9 数がいちばん多いのはねずみで、い  
ちばん少ないのはさるです。  
絵グラフの高さから、いちばん多い  
動物、いちばん少ない動物を読み取  
ります。

10 ①みなとさんは前から5番目だから、  
みなとさんの後ろには2人並んで  
います。

② $3+7=10$ 、 $10-5=5$ と2つ  
の式に分けていても正解です。

11 右、左、上、下を使って、ものの位  
置をことばで表します。

③犬の位置を表します。

「ぼうしのえの下」、「ねこのえの  
右」、「とりのえの左」と答えてい  
ても正解です。

12 わけは、さくらさんのほうが、塗っ  
た□の数が多い(塗った場所が広い)  
ことが書けていれば正解です。  
ゆいさんが12個、さくらさんが13  
個□を塗っていると、具体的な説明  
がついていても正解です。